

科目名	コンサートBasic(1) (PA Basic(1))	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	新部有亮
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴	ROCK IN JAPAN FESTIVALやCOUNT DOWN JAPANなどのツアースタッフなどに参加。 中国、香港、台湾などのアジアの活動業務のプロジェクトマネージャーも担当し、世界で活躍するPAエンジニア。実務歴15年以上						
授業の学習 内容	PAエンジニアとしての基本を学習する。 機材の使用方法や名称、業界用語から基礎体力まで。安全管理を確実に理解する。						
到達目標	PA基本システムの設置を行い、一人でチェックすることができる。 信号の流れを理解する。 マイクケーブル8の字巻き 100m 2分30秒						
評価方法と基準	学習姿勢、出席率、基礎技術力にて判断。 実技試験の場合、制限時間を厳守し課題を合格すること。 イベント開催までの準備期間を時間外学習として評価する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介。職業理解を深める心構え。安全教育。機材取り扱い。マイクスタンド等の使用方法。	機材取り扱い、マイクスタンド等の使用方法について復習レポートを作成。
2		講義・演習	簡易セット1回目。コネクタ種類把握。簡易セットの機材把握。	コネクタ種類、簡易セットの機材について復習レポートを作成。
3		講義・演習	簡易セット2回目。簡易セット設営、撤去、チェックができるようになる。	簡易セット設営、撤去、チェックについて復習レポートを作成。
4		講義・演習	簡易セット3回目。EQを追加。設営、撤去、チェックができるようになる。	EQについて復習レポートを作成。
5		講義・演習	簡易セット4回目。EQ,マルチ追加。	マルチシステムについて復習レポートを作成。
6		講義・演習	簡易セット5回目。ステージモニター、エフェクター追加。学園祭イベントを考える。	モニター、エフェクターについて復習レポートを作成。
7		講義・演習	イベントにおけるPAシステムのプランニング。電気知識を活用する。	プランニング、電気知識について復習レポートを作成。
8		講義・演習	簡易セット6回目。変化に対応できる柔軟性を身につける。	簡易セットについて学んだことをあらためて振り返り確認しておく。
9		講義・演習	簡易セット7回目。チーム力を活用し、制限の中で結果を出す。	簡易セットについて学んだことをあらためて振り返り確認しておく。
10		講義・演習	マルチウェイスピーカーについて。	マルチウェイスピーカーについて復習レポートを作成。
11		講義・演習	ステージワーク1回目。イベント、体験入学を見越した内容。	ステージワークについて復習レポートを作成。
12		講義・演習	明日への扉のスタッフとして参加し、仕込み、リハーサルをする。	イベントに向けて打合せ、リハーサル立会いなど準備をしっかりと行ない、レポートを作成。
13		講義・演習	明日への扉のスタッフとして参加し、本番、撤収作業をする。	イベントの本番、バラシなどをしっかりと行ない、レポートを作成。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートやイベントに向けての準備、リハーサルを行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				
PA入門				

科目名	コンサートBasic(1) (照明Basic(1))	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	豊田奈未
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	13年以上照明オペレーター、都内ライブハウスの照明チーフとして従事口						
授業の学習 内容	舞台用語や機材名など、照明業務の基礎をメインに学ぶ。 コミュニケーションを取る大切さを学ぶ。						
到達目標	学校にある基本の機材の名称、使い方を覚える。光の原理と舞台基礎用語、仕込みの方法、電気計算や安全など舞台人としての基礎全般を習得する						
評価方法と基準	実技60% 筆記試験10% 授業に取り組む姿勢30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	自己紹介・設置機材の説明	機材資料の確認、レポート作成
2		講義・演習	照明器具の取り扱い方を理解する	機材資料の確認、レポート作成
3		講義・演習	機材の電気容量・DMXの仕組みと配線を理解する	機材資料の確認、レポート作成
4		講義・演習	色とフィルターの学習・仕込み図の見方を理解する	色見本帳の確認、レポート作成
5		講義・演習	ステージの仕込み図を考え、シュートまで行う	ステージの仕込み図を作成
6		講義・演習	卓の基本的な使い方を学ぶ(Quartz or Arena)	取扱説明書の確認
7		講義・演習	卓の基本的な使い方を学ぶ(Quartz or Arena)	取扱説明書の確認、レポート作成
8		講義・演習	譜割り・明かり作りについて学ぶ	使用する曲を決め、譜割りを作成
9		講義・演習	明かりの打ち込みを実践する	明かりの構想をし、レポート作成
10		講義・演習	明かりの打ち込みを実践する	明かりの構想をし、レポート作成
11		講義・演習	PINの使い方を学ぶ	機材資料の確認のうえレポート作成
12		講義・演習	テスト	前期の復習
13		講義・演習	前期まとめ・復習	理解の足りなかった部分をレポート作成
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			毎回の学習内容は理解している前提で、毎週進んでいくため、復習と時間外学習は必須。	
【使用教科書・教材・参考書】				
ステージ舞台入門				

科目名	コンサートBasic(1) (舞台監督演習Basic(1))	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	北英樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年以上						
授業の学習 内容	舞台監督及びステージデザイナーに関する 基礎知識 についての 講義 及び 実技						
到達目標	舞台監督及びステージデザイナーに関しての 基礎知識 の 理解						
評価方法と基準	1) 定期試験90% 2) 小テスト5% 3) レポート・論文5% 1) 定期テスト50% 2) 出席数50% 1) 定期テスト(筆記50% 実技50%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	舞台監督演習の授業内容を理解する。舞台制作基礎 1 業界の仕組みを理解する。	授業日・時間を調べる。エンターテインメント業界の職種を調べる。
2		講義・演習	舞台監督基礎 1 舞台監督についてを理解する。舞台監督作成資料を理解する。	舞台監督の持物を調べる。舞台監督が作成する資料の項目を調べる。
3		講義・演習	舞台制作基礎2コンサートスタッフを理解する。コンサートの現場での流れを理解する。	コンサートスタッフのセクションを調べる。コンサートの1日流れを調べる。
4		講義・演習	舞台基礎知識 1 舞台についてを理解する。歌舞伎の舞台機構を理解する。	舞台の構造を調べる。歌舞伎とは何かを調べる。
5		講義・演習	舞台監督基礎 2 会館の利用規約を理解する。学園祭の基礎知識1を理解する。	会館 ホールの資料を調べる。学園祭の日時を調べる。
6		講義・演習	演劇基礎 1 演劇についてを理解する。演劇に関わるスタッフを理解する。	演劇とは何かを調べる。コンサートスタッフとの違いを調べる。
7		講義・演習	中間試験 及び 復習講義	講義の内容の復習をする。
8		講義・演習	学園祭基礎 2学園祭の詳細を理解する。舞台美術基礎 1舞台美術を理解する。	学園祭の詳細を調べる。舞台美術とは何かを調べる。
9		講義・演習	舞台監督 3 演劇台本分析を理解する。	台本とは何かを調べる。
10		講義・演習	演劇基礎 2 演劇の演出を理解する。	演出とは何かを調べる。
11		講義・演習	学園祭基礎 3 学園祭の全ての復習を理解する。演劇基礎3演劇スタッフよりを理解する	学園祭終了時資料を見直す。淵源スタッフを更に調べる。
12		講義・演習	演劇基礎 3 演劇の内容を理解する。ミュージカル基礎 1 ミュージカルを理解する。	演劇の映像を調べる。ミュージカルとは何かを調べる。
13		講義・演習	前期 テスト（筆記 及び 実技）	前期の全ての授業内容の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			準備学習 各授業のテーマを調べて下さい 時間外学習 授業日の曜日に必ず復習して下さい	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートBasic(1) (イベント制作運営演習(1))	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	唐澤淳
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	これまで数多くのアーティストマネージャーを務め、様々な現場でプロデューサー、舞台監督、デザイナーとして活躍するいくつもの顔を持っているマルチ業界人。						
授業の学習 内容	江戸川文化センターで行われる骨髄移植推進キャンペーンニュージカル「明日への扉」の公演を教材にイベントスタッフとして必要な運営・制作の知識を実践的に学ぶ。 実践で行うことにより、舞台を創る流れや細かな段取りを学びながら業界に必要な人材として成長していく。						
到達目標	運営・制作の流れが理解出来る。 公演の際にスタッフの一員として参加出来る。						
評価方法と基準	授業の中でのレポート提出 30% 「明日への扉」に関しての積極的な発言や態度。関わりや、本番日の行動力、スタッフの一員として成り立っているか。それぞれに与えられた担当のなかで仕事を全うしているかを評価 70%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	「明日への扉」の内容について触れ、本公演を開催する意義を理解する	骨髄移植を推進するプロモーションをレポート用紙にて提出する
2		講義・演習	運営のセクションの流れと段取りを学ぶ	運営とはどのような役割かをレポートにまとめ提出
3		講義・演習	制作のセクションの流れと段取りを学ぶ	制作とはどのような役割かをレポートにまとめ提出
4		講義・演習	その他のセクション(PA・照明・舞台・衣装管理・メイク)の流れと段取りを学ぶ	昨年のマニュアルを参考にに関わり時期を調べておく
5		講義・演習	運営スタッフ・制作スタッフ共通して使用する機材や備品の使い方について学ぶ	昨年のマニュアルを参考に実際に使用していた時期を調べておく
6		講義・演習	各希望セクションに分かれ、運営:公演概要と運営方法を学ぶ 制作:稽古スケジュールを基に稽古期間の流れや段取りを学ぶ	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出
7		講義・演習	運営:チケット発売方法と管理方法を学ぶ 制作:台本の使い方を学ぶ・稽古会場の仕込みを学ぶ	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出
8		講義・演習	運営:協賛の必要性を学び協力をお願いする 制作:制作スケジュールの作成・各セクション香盤表を作成	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出
9		講義・演習	運営:ホールRHIに伴う会場下見、必要備品の準備・調達 制作:ホールRHIに伴う会場下見・使用会場の申請・楽屋振り分け	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出
10		講義・演習	運営:運営方法を学びマニュアルを作成する 制作:搬入・搬出方法を学ぶ・機材管理を学ぶ	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出
11		講義・演習	運営:運営マニュアル読み合わせ 制作:各セクションへの伝達事項を学び実践する	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出
12		講義・演習	「明日への扉」運営・制作スタッフとして公演を成功させる(実践的に各セクションについての当日の流れを学ぶ)	実践的に各セクションに取り組む
13		講義・演習	「明日への扉」運営・制作スタッフとして公演を成功させる(実践的に各セクションについての当日の流れを学ぶ)	実践的に各セクションに取り組む
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートBasic(2) (PA Basic(2))	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	新部有亮
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴	ROCK IN JAPAN FESTIVALやCOUNT DOWN JAPANなどのツアースタッフなどに参加。 中国、香港、台湾などのアジアの活動業務のプロジェクトマネージャーも担当し、世界で活躍するPAエンジニア。実務歴15年以上						
授業の学習 内容	PAエンジニアとしての基本を身につける。前期に引き続き、基礎的な技術を学ぶのは勿論のこと、授業内でもグループ作業の割合が増えてゆくため、リーダーシップを身につけて自分で考える能力を養う。他者の意見を取り入れ、より良い作業効率を見つけて出してゆく。						
到達目標	コミュニケーション能力をさらに高めてゆく。アナログ機器だけでなくデジタル機器にも対応できる知識を身につけることが出来る。						
評価方法と基準	実技試験にて評価 100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	信号分岐、ハウスミキサー、モニターミキサーの頭分けを理解する。EFXやダイナミクス系を設営できるようにする。	信号分岐、EFXやダイナミクス系の設営について復習レポートを作成。	
2		講義・演習	設営実習①ハウス、モニター、ステージそれぞれに分かれて設営を学習する。	ハウス、モニター、ステージの設営について復習レポートを作成。	
3		講義・演習	設営実習②スピーカーチューニング(技法)について学習する。	スピーカーチューニング(技法)について復習レポートを作成。	
4		講義・演習	設営実習③作業の効率化を考えながら、少人数で設営できるようになる。	教室を使って少人数で設営できるように復習しておく。	
5		講義・演習	デジタル卓を理解する①LS-9、X-32などでデジタル卓の設定方法を理解する。	デジタル卓を理解するLS-9、X-32などでデジタル卓の設定方法について復習レポートを作成。	
6		講義・演習	アメリカのPAエンジニアの考え方を学び、日本との違いを知る。	授業内容について復習レポートを作成する。	
7		講義・演習	デジタル卓を理解する②	デジタル卓について復習レポートを作成。	
8		講義・演習	デジタル卓を理解する③	デジタル卓について復習レポートを作成。	
9		講義・演習	ライブ実習① インストバンドのサウンドチェックを学習する	インストバンドのサウンドチェックについて復習レポートを作成。	
10		講義・演習	ライブ実習② ヴォーカル&バンドのサウンドチェックを学習する。	ヴォーカル&バンドのサウンドチェックについて復習レポートを作成。	
11		講義・演習	ライブ本番実習① ボーカル&バンドのライブ本番を経験する。	ボーカル&バンドのライブ本番について復習レポートを作成。	
12		講義・演習	卒業進級制作展のスタッフとして参加し、仕込み、リハーサルをする。	イベントに向けて打合せ、リハーサル立会いなど準備をしっかりと行ない、レポートを作成。	
13		講義・演習	卒業進級制作展のスタッフとして参加し、本番、撤収作業をする。	イベントの本番、バラシなどをしっかりと行ない、レポートを作成。	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートやイベントに向けたプランを作成する。		
【使用教科書・教材・参考書】					
PA入門					

科目名	コンサートBasic(2) (照明Basic(2))	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	豊田奈未
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	13年以上照明オペレーター、都内ライブハウスの照明チーフとして従事						
授業の学習 内容	本格的に演習授業中心の内容で、仕込みバラシ、シュート明かり作りなど基礎となる現場の流れや現場に入る前の準備符割りデータ作りなどより実践に近いことを学び二年目に応用力を持てる人材になれる人間力を覚える。						
到達目標	前期の知識を応用し、次のステップへ。シュートの技術や効率のいい方法を考えたり照明プランニングする為の基礎知識を学び二年に上がる為の舞台人基礎力マスターをする。						
評価方法と基準	実技試験50%筆記試験50%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	器材、ケーブル等のメンテナンスや機材の仕組みや工具の使い方を理解する	予習と復習	
2		講義・演習	パイプ回路を使つての回路とり疑似体験をする	予習と復習	
3		講義・演習	物の見え方、効果など光の基本を学ぶ	予習と復習	
4		講義・演習	フォーカス①の仕方を学ぶ	予習と復習	
5		講義・演習	フォーカス②の考え方を学ぶ	予習と復習	
6		講義・演習	シーン①意味や考え方テクニックを学ぶ	予習と復習	
7		講義・演習	シーン②仕込み図の考え方と方法論を学ぶ	予習と復習	
8		講義・演習	舞台照明効果の理解する	予習と復習	
9		講義・演習	明かり作り②データ用紙作成する	音源とデータ用紙	
10		講義・演習	明かり作り③前週のデータを実際に照明してみる	音源とデータ用紙	
11		講義・演習	イベントに向けてスタジオの仕込み作業をする	予習と復習	
12		講義・演習	ピンスポットの構造や操作方法を理解し、オペレーターを体験する	予習と復習	
13		講義・演習	イベントの照明プランとプログラム作業をする①	音源とデータ用紙	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			毎回の学習内容は理解している前提で、毎週進んでいくため、復習と時間外学習は必須。		
【使用教科書・教材・参考書】					
ステージ舞台入門					

科目名	コンサートBasic(2) (舞台監督演習Basic(2))	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	北英樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年以上						
授業の学習 内容	舞台監督及びステージデザイナーに関する 基礎知識 についての 講義 及び 実技						
到達目標	舞台監督及びステージデザイナーに関しての 基礎知識 の 理解						
評価方法と基準	1) 定期試験90% 2) 小テスト5% 3) レポート・論文5% 1) 定期テスト50% 2) 出席数50% 1) 定期テスト(筆記50% 実技50%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	演劇に関しての応用知識 の 理解	前期 演劇の授業の復習
2		講義・演習	舞台機構を 理解する	舞台機構の復習
3		講義・演習	舞台制作に関しての応用力の 取得	前期 舞台制作の授業の復習
4		講義・演習	舞台監督に関しての 応用力の 取得	前期 舞台監督の授業の復習
5		講義・演習	舞台制作の作成する資料について重要性	前期 舞台制作の授業の復習
6		講義・演習	舞台美術に関しての応用力 の 取得	前期 舞台美術の授業の復習
7		講義・演習	中間試験	講義の内容の復習
8		講義・演習	楽器に関しての 復習	楽器知識の授業の復習
9		講義・演習	ステージデザインの応用力の 取得	ステージデザインとは何か調べる
10		講義・演習	後期 テスト（ 筆記 及び 実技 ）	後期 の全ての授業内容の復習
11		講義・演習	進級展についての 理解	進級展とは何か調べる
12		講義・演習	進級展 の 作成資料 の 理解	進級展の 内容の 把握
13		講義・演習	入学式 に関しての基礎知識 の 理解	入学式の内容の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			準備学習 各授業のテーマを調べて下さい 時間外学習 授業日の曜日に必ず復習して下さい	
【使用教科書・教材・参考書】				
学内に有る全ての機材の使用				

科目名	コンサートBasic(2) (イベント制作運営演習(2))	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	唐澤淳
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	これまで数多くのアーティストマネージャーを務め、様々な現場でプロデューサー、舞台監督、デザイナーとして活躍するいくつもの顔を持っているマルチ業界人。						
授業の学習 内容	ZEPPTOKYOで行われる卒業・進級制作展weareTSM！TSM渋谷！DA TOKYO！の公演を教材にイベントスタッフとして必要な運営・制作の知識を実践的に学ぶ。 実践で行うことにより、コンサートを創る流れや細かな段取りを学びながら業界に必要な人材として成長していく。						
到達目標	運営・制作の流れが理解出来る。 公演の際にスタッフの一員として参加出来る。						
評価方法と基準	授業の中でのレポート提出 30% 「明日への扉」に関する積極的な発言や態度。関わりや、本番日の行動力、スタッフの一員として成り立っているか。それぞれに与えられた担当のなかで仕事を全うしているかを評価 70%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	卒業・進級制作展の内容について触れ、本公演を開催する意義を理解する	コンセプトの元公演演出の考案レポートを提出	
2		講義・演習	運営のセクションの流れと段取りを学ぶ	運営とはどのような役割かをレポートにまとめ提出	
3		講義・演習	制作のセクションの流れと段取りを学ぶ	制作とはどのような役割かをレポートにまとめ提出	
4		講義・演習	その他のセクション(PA・照明・舞台・衣装管理・メイク)の流れと段取りを学ぶ	昨年のマニュアルを参考にに関わり時期を調べておく	
5		講義・演習	運営スタッフ・制作スタッフ共通して使用する機材や備品の使い方について学ぶ	昨年のマニュアルを参考に実際に使用していた時期を調べておく	
6		講義・演習	各希望セクションに分かれ、運営：公演概要とコンセプト内容を学ぶ 制作：公演の流れを理解し稽古スケジュールを組む	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する	
7		講義・演習	運営：座席管理方法を学ぶ 制作：公演演出の流れを理解し機材の管理を行う	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する	
8		講義・演習	運営：運営マニュアルの作成方法を学び作成する 制作：制作スケジュールの作成・各セクション番表を作成	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する	
9		講義・演習	運営：ホールRHIに伴う会場下見、必要備品の準備・調達 制作：ホールRHIに伴う会場下見・使用会場の申請・楽屋振り分け	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する	
10		講義・演習	運営：運営方法を学び作成する 制作：搬入・搬出方法を学ぶ・機材管理を学ぶ	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する	
11		講義・演習	運営：運営マニュアルの読み合わせ 制作：各セクションへの伝達事項を学び実践する	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する	
12		講義・演習	卒業・進級制作展運営・制作スタッフとして公演を成功させる(実践的に各セクションについての当日の流れを学ぶ)	実践的に各セクションに取り組む	
13		講義・演習	卒業・進級制作展運営・制作スタッフとして公演を成功させる(実践的に各セクションについての当日の流れを学ぶ)	実践的に各セクションに取り組む	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認する。		
【使用教科書・教材・参考書】					
昨年度「明日への扉」公演マニュアル・概要書・終了報告書・今年度「明日への扉」台本					

科目名	コンサートテクニック(1) (PA ワークショップ(1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	新部有亮
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 6単位		
教員の略歴	ROCK IN JAPAN FESTIVALやCOUNT DOWN JAPANなどのツアースタッフなどに参加。 中国、香港、台湾などのアジアの活動業務のプロジェクトマネージャーも担当し、世界で活躍するPAエンジニア。実務歴15年以上						
授業の学習 内容	学内イベントや学外イベント、ホール実習などを行なっていく中で基礎的な音響知識の実践を行なっていく。 打合せ、プランニング、仕込み、リハーサル、サウンドチェック、本番、バラシの一連の流れを実際のイベントを通して学び、経験とする。						
到達目標	PAスタッフとしての基礎的な現場力を身につけ、上級生が下級生に教える中から、自分自身の理解力をより深めると共に同セクション内の人間関係をも構築する。学内イベントやホール実習を通し、他セクション、ホールスタッフ、演者などとの良好な関係づくりを構築する中から、人としての成長を促し、業界で即戦力として活躍できる人材の育成を目指す。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	顔合わせ自己紹介、機材の持ち方と安全管理について学ぶ。	機材の持ち方と安全管理について復習レポートを作成。
2		講義・演習	マイクとスタンドの種類、ケーブルの巻き方を学ぶ。	マイクとスタンドの種類、ケーブルの巻き方について復習レポートを作成。
3		講義・演習	PA仕込みの練習を行なう。	PA仕込みについて復習レポートを作成。
4		講義・演習	仕込み練習・学園祭セクション決めを行なう。	学園祭セクションで打合せを行なう。
5		講義・演習	仕込み練習・学園祭プランを立てる。	学園祭プランを立てるための打合せや稽古立会い等を行なう。
6		講義・演習	学園祭反省会・明日への扉映像を見た上でセクションを決める。	学園祭反省会・明日への扉映像を見た上でセクションを決める。
7		講義・演習	仕込み練習/LIVE8を学ぶ。	仕込み練習/LIVE8を学ぶ。
8		講義・演習	仕込み練習/Work Benchを学ぶ。	仕込み練習/Work Benchを学ぶ。
9		講義・演習	仕込み練習/DVSを学ぶ。	仕込み練習/DVSを学ぶ。
10		講義・演習	外部ホール実習①外部ホールでの搬入搬出、仕込み、舞台機構、使用マナー等を学ぶ。	外部ホール実習①外部ホールでの搬入搬出、仕込み、舞台機構、使用マナー等を学ぶ。
11		講義・演習	ホール実習②外部ホールで音環境を理解する。	ホール実習②外部ホールで音環境を理解する。
12		講義・演習	ホール実習③外部ホールでのライブシミュレーションを行なう。	ホール実習③外部ホールでのライブシミュレーションを行なう。
13		講義・演習	明日への扉スタッフとして参加し、仕込み、リハーサルを行なう。	明日への扉スタッフとして参加し、仕込み、リハーサルを行なう。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習をレポートとして作成する。イベント等の打合せ、リハーサル立会い、プランニングや資料作成を行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(1) (照明ワークショップ(1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	橋本真也
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴	ライブ、コンサート、お芝居、施設照明のプラン、ムービングライトのオペレートを行う。						
授業の学習 内容	舞台照明の仕事をするにあたり基礎を踏まえた内容の授業をメインとし現場で求められる人間性、技術力、行動力などの人材育成を目的とした実習としベーシック、アドバンスを活かした現場総合力を身につけるための授業。実習を繰り返すことで現場で求められる基礎知識と動きなどを覚え即戦力になる人材を育成する。						
到達目標	照明基礎のベーシック、アドバンスを活かしたより実践的な技術の習得と学年を超えた照明スタッフとしてのコミュニケーション力を学びより現場らしい業務内容の体験の中で社会人になる意識を持たせる。メンテナンスを通じて器材の仕組みや工具の使い方を学ぶ。仕込みバラシと明かり作り作業の反復練習で照明効果の理解を深める。						
評価方法と基準	実技試験50%筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	火曜の授業の確認や学校イベントなどの把握と協調関係の大事さなどを教わる	ノート
2		講義・演習	教室機材の器材を覚える	予習と復習
3		講義・演習	明かりを出しながら基本明かりの解説と理解する	予習と復習
4		講義・演習	光と影が表わす印象と表現を理解する	予習と復習
5		講義・演習	光の方向性や色から受けるイメージを感じる	予習と復習
6		講義・演習	テーマに沿った明かりを表現してみる	予習と復習
7		講義・演習	電気基礎の理解をする	予習と復習
8		講義・演習	調光信号とユニットの理解をする	予習と復習
9		講義・演習	仕込み図を作成する①	予習と復習
10		講義・演習	仕込みバラシをしてみる①	前週の仕込み図を完成させる
11		講義・演習	仕込み図を作成する②	予習と復習
12		講義・演習	仕込みバラシをしてみる②	前週の仕込み図を完成させる
13		講義・演習	前期を終えるにあたり質問復習をする	質問疑問をまとめてくる
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			常に帰ってからの復習と理解を深め実習での動きにだせるように	
【使用教科書・教材・参考書】				
ステージ舞台入門				

科目名	コンサートテクニック(1) (舞台制作ワークショップ(1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	北英樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 6単位		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年以上						
授業の学習 内容	テキストを中心に舞台の基礎を学び、アイドルイベントやお笑いイベント、学園祭、明日への扉公演の舞台監督、舞台制作スタッフに必要な知識と技術を実践的に学ぶ。						
到達目標	●知識と基に、作業工程や操作法を身につけることができる。 ●舞台全体を把握できる能力を身に付けることができる。 ●座学と実習を繰り返して、舞台監督としての成長を目指す。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期講義と舞台制作についての概要説明のオリエンテーションを行う。	自己紹介内容の準備をする。
2		講義・演習	基本用語(舞台用語)を学ぶ。	スタッフ赤本の復習レポート作成と予習
3		講義・演習	基本用語(舞台セット)を学ぶ。	スタッフ赤本の復習レポート作成と予習
4		講義・演習	基本用語(舞台進行)を学ぶ。	イベント打合せ、資料の作成
5		講義・演習	学園祭準備を通して制作を学ぶ。	イベント打合せ、資料の作成
6		講義・演習	学園祭反省会と引き継ぎ作業を行う。	学園祭時に使用した資料の整理をする。
7		講義・演習	基本用語(各セクション)を学ぶ。	実習準備
8		講義・演習	舞台備品(箱馬・平台)について理解する。	実習準備
9		講義・演習	舞台備品(幕)について理解する。	イベント打合せ、資料の作成
10		講義・演習	舞台備品(ステージ設営)について理解する。	イベント打合せ、資料の作成
11		講義・演習	舞台備品(大道具部材)について理解する。	授業内容を復習しレポートを作成。
12		講義・演習	舞台備品(繋ぐ・切る・結ぶ)について理解する。	授業内容を復習しレポートを作成。
13		講義・演習	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の仕込み、進行、転換等を実践的に学ぶ。	打合せ、稽古立会い、資料の作成。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートを作成し、イベントの打合せ、タイムテーブルや進行表等の資料作成を行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				
スタッフ赤本・コース教材(メジャー・手袋・カッター)				

科目名	コンサートテクニック(2) (PA ワークショップ(2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	新部有亮
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴	ROCK IN JAPAN FESTIVALやCOUNT DOWN JAPANなどのツアースタッフなどに参加。 中国、香港、台湾などのアジアの活動業務のプロジェクトマネージャーも担当し、世界で活躍するPAエンジニア。実務歴15年以上						
授業の学習 内容	学内イベントや学外イベント、ホール実習などを行なっていく中で基礎的な音響知識の実践を行なっていく。 進級制作展、卒業制作展を成功に導くためのプランニングやオペレーションを学ぶ。						
到達目標	PAスタッフとしての基礎的な現場力を身につけ、上級生が下級生に教える中から、自分自身の理解力をより深めると共に同 セクション内の人間関係をも構築することが出来る。学内イベントやホール実習を通し、他セクション、ホールスタッフ、演者な どとの良好な関係づくりを構築する中から、人としての成長を促し、業界で即戦力として活躍できる人材の育成を目指す。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	仕込練習/LS9の操作方法を修得する。	LS9の操作方法について復習レポートを作成。
2		講義・演習	仕込練習/X32の操作方法を修得する。	X32の操作方法について復習レポートを作成。
3		講義・演習	仕込練習/QL5の操作方法を修得する。	QL5の操作方法について復習レポートを作成。
4		講義・演習	仕込練習/CL5の操作方法を修得する。	CL5の操作方法について復習レポートを作成。
5		講義・演習	仕込練習/SD8の操作方法を修得する。	SD8の操作方法について復習レポートを作成。
6		講義・演習	外部ホール実習④外部ホールでのアコギ弾き語りライブシミュレーションを行なう。	外部ホールでのアコギ弾き語りライブについて復習レポートを作成。
7		講義・演習	外部ホール実習④外部ホールでのピアノ弾き語りライブシミュレーションを行なう。	外部ホールでのピアノ弾き語りライブについて復習レポートを作成。
8		講義・演習	ホール実習③外部ホールでのバンドライブシミュレーションを行なう。	外部ホールでのバンドライブについて復習レポートを作成。
9		講義・演習	We are TSM渋谷のセクション決めを行ない、打合せをする。	セクションごとの打合せ内容をまとめ資料を作成する。
10		講義・演習	We are TSM渋谷打合せ、プランニングをする。	We are TSM渋谷プランの整理をする。
11		講義・演習	We are TSM渋谷リハーサルを行なう。(1)	We are TSM渋谷リハーサルについて修正変更点をまとめる。
12		講義・演習	We are TSM渋谷リハーサルを行なう。(2)	We are TSM渋谷リハーサルについて修正変更点をまとめる。
13		講義・演習	We are TSM渋谷に参加し、プランニング、リハーサル立会い、資料作成を行なう。	明日への扉スタッフとして参加し、仕込み、リハーサルを行なう。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習をレポートとして作成する。イベント等の打合せ、リハーサル立会い、プランニングや資料作成を行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(2) (照明ワークショップ(2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	橋本真也
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴	ライブ、コンサート、お芝居、施設照明のプラン、ムービングライトのオペレートを行う。						
授業の学習 内容	舞台照明の仕事をするにあたり基礎を踏まえた内容の授業をメインとし現場で求められる人間性、技術力、行動力などの人材育成を目的とした実習としベーシック、アドバンスを活かした現場総合力を身につけるための授業。実習を繰り返すことで現場で求められる基礎知識と動きなどを覚え即戦力になる人材を育成する。						
到達目標	照明基礎のベーシック、アドバンスを活かしたより実践的な技術の習得と学年を超えた照明スタッフとしてのコミュニケーション力を学び、より現場らしい業務内容の体験の中で社会人になる意識を持つことができる。 メンテナンスを通じて器材の仕組みや工具の使い方を学ぶ。仕込みバラシと明かり作り作業の反復練習で照明効果の理解を深める。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	仕込みバラシをしてみて応用力コミュニケーション力等を身につける	仕込み図を完成させ当日発表
2		講義・演習	照明におけるメンテナンス技術を身につける	工具を持ってくる準備
3		講義・演習	仕込みバラシをしてみて応用力コミュニケーション力等を身につける	仕込み図を完成させ当日発表
4		講義・演習	内容考察や符割りプランニングなどの理解する	資料
5		講義・演習	仕込みバラシをしてみて応用力コミュニケーション力等を身につける	仕込み図を完成させ当日発表
6		講義・演習	課題曲や個人選曲で発表する	選曲
7		講義・演習	仕込みバラシをしてみて応用力コミュニケーション力等を身につける	仕込み図を完成させ当日発表
8		講義・演習	課題曲や個人選曲で発表する	選曲
9		講義・演習	仕込みバラシをしてみて応用力コミュニケーション力等を身につけること	仕込み図を完成させ当日発表
10		講義・演習	課題曲や個人選曲で発表する	選曲
11		講義・演習	卒業公演に向けての机上準備を学ぶ	各種資料
12		講義・演習	後期まとめとして質問や復習	教科書ノートなどのおさらい
13		講義・演習	進級卒業制作展の照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			常に帰ってからの復習と理解を深め、実習や現場での動きに活かせるようにする。	
【使用教科書・教材・参考書】				
ステージ舞台入門				

科目名	コンサートテクニック(2) (舞台制作ワークショップ(2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	北英樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 6単位		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年以上						
授業の学習 内容	アイドルイベントやお笑いイベント等を通して舞台監督、舞台制作スタッフに必要な知識と技術を実践的に学ぶ。 また、実習にて舞台機構を操作し習得する。 卒業進級制作展に向けての打合せや作業を行なう。						
到達目標	舞台公演に必要な知識・使用操作方技術を身につけ、公演の進行を自分自身で行えるようになる。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期授業の振り返りと後期講義のオリエンテーションを行う。	PC操作・スタッフ赤本の復習
2		講義・演習	卒業進級制作展開催役割分担を行い、組織体制作りを学ぶ。	授業内容の整理。
3		講義・演習	地衞り・カーペットを敷くスキルを学ぶ。	授業内容の復習レポートを作成。
4		講義・演習	幕を吊る・道具を飾るスキルを学ぶ。	授業内容の復習レポートを作成。
5		講義・演習	コンサートホールを理解し、舞台セットを考察する。	授業内容の復習、資料のまとめをレポートとして作成。
6		講義・演習	学内イベントの舞台進行を実践的に学ぶ。	実習準備をする。
7		講義・演習	学内イベントの舞台進行を実践的に学ぶ。	実習準備をする。
8		講義・演習	卒業進級制作展の制作スケジュールを管理し、演出内容について考察する。	打合せ、資料作成。
9		講義・演習	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う①。	打合せ、資料作成し、仕込み作業を行う。
10		講義・演習	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う②。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
11		講義・演習	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う③。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
12		講義・演習	進級制作展の資料作成とリハーサル、本番の舞台進行を行う④。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
13		講義・演習	卒業進級制作展の資料作成とリハーサル、本番の舞台進行を行う⑤。	打合せ、リハーサル立会い、資料の作成。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートを作成し、イベントの打合せ、タイムテーブルや進行表等の資料作成を行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				
スタッフ赤本				

科目名	イベントスタッフワーク(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大島直子
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	イベントやコンサートの制作・進行、事務局、発表会、企業物などオールジャンルの仕事をする。実務歴17年。						
授業の学習 内容	2年生は卒業制作であり、「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」のイベントにおける制作業務を学び、報告書の作成を学ぶ。1年間の集大成のイベントを各学科・コースや合同日(葛西校)を連携しながら、進行及び制作業務を行う。						
到達目標	各学科・コースの枠を超えて、イベントを新規で作り上げていく為のコミュニケーション能力を身につけることができる。イベント本番の役割をシミュレーションし、事前準備の大切さや見やすい資料作成の基本を習得することができる。						
評価方法と基準	実技試験(イベントでの制作業務と作成された報告書を評価する。) 50% 資料作成のレポート提出を評価 50%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の概要説明、舞台・制作・運営のチーム分け、演目担当分け、各担当ごとに連絡先交換と各グループで挨拶を行う。	今後1つのチームとして作業するため、授業以外でもコミュニケーションをとる意識を持つ。	
2		講義・演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の演目について理解する。	授業内容について復習しレポートを作成。	
3		講義・演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の昨年の映像確認し、内容を把握する。	映像データを管理し、いつでも見れる見せられる環境を整えておく。	
4		講義・演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の昨年の映像確認と舞台監督と制作の役割・内容を理解する。	映像データを管理し、いつでも見れる見せられる環境を整えておく。	
5		講義・演習	各演目担当チームごとに、担当教務に挨拶に行く。	イベント資料を管理し、チームで共有する環境を整えておく。	
6		講義・演習	各演目の現状確認(報告会)、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。	申し送り事項について復習しレポートを作成。	
7		講義・演習	各演目の現状確認(報告会)、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。	※舞台・運営と合同ミーティング 情報共有をする。	
8		講義・演習	各演目の現状確認(報告会)、必要資料を作成する制作チームごとにミーティングとシーバーの使い方を学ぶ。 ※資料の締め切り確認 ※葛西制作と顔合わせ	授業内容について復習しておく。	
9		講義・演習	各演目の現状確認(報告会)、必要資料を作成する。リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。 ※資料の締め切り確認	資料作成。	
10		講義・演習	各演目の現状確認(報告会)、必要資料を作成する。リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。 ※資料の締め切り確認	資料作成。	
11		講義・演習	各演目の現状確認(報告会)、必要資料を作成する。リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。 ※資料の締め切り確認	資料作成。	
12		講義・演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の制作スタッフとしてイベントに取り組む。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかりと行なう。	
13		講義・演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の制作スタッフとしてイベントに取り組む。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかりと行なう。	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	アーティストマネジメント(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	上野新
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	30年以上に渡り数多くのアーティストのマネージメント・プロデュース・コンサート制作などを手掛ける。						
授業の学習 内容	マネージャーはアーティストにとって「一番近い存在であり大事なパートナー」であり「アーティストの運命を左右する一番身近なプロデューサー」です。マネージャーの実際の仕事内容を知り、マネージャーの仕事をしてゆく上で必要な知識を学ぶことがこの授業の目的です。学生の皆さんがそれぞれの価値観、感覚で「マネージャーの仕事」を感じ取り、学生の皆さんの将来の夢を叶える土台作りをします。また、マネージャーの仕事や音楽業界の仕事以外に広くエンタメビジネス全般についても学生の皆さんと一緒に考えて行きます。AIなど数多くの新たなエンタメツールが生まれている現在、音楽業界は大きな転換期にあります。過去に囚われないこれからの音楽ビジネスの可能性を学生の皆さんと一緒に考えていきます。						
到達目標	①「マネージャー」の仕事をしてゆく上で必要な知識を学ぶ ②それぞれのキャラクターを大事にしたコミュニケーション能力のスキルアップ ③それぞれのキャラクターを大事にしたクリエイティビティーのスキルアップ ④マネージャーとして必要なマネタイズ(権利周り)の知識を習得						
評価方法と基準	□総合的な授業態度 ・・・出席率 ・・・能動的なアティテュード						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーション	プレゼンシミュレーション
2		講義・演習	マネージャーってどんな仕事？-1	プレゼンシミュレーション
3		講義・演習	マネージャーってどんな仕事？-2	プレゼンシミュレーション
4		講義・演習	マネージャー以外にどんな仕事があるの？	プレゼンシミュレーション
5		講義・演習	SNSビジネスの現在	プレゼンシミュレーション
6		講義・演習	ネットビジネスの現在	プレゼンシミュレーション
7		講義・演習	ライブ配信の現在	プレゼンシミュレーション
8		講義・演習	アーティスト紙資料を作ってみよう	プレゼンシミュレーション
9		講義・演習	アーティストの宣伝プランを考えてみよう	プレゼンシミュレーション
10		講義・演習	CDやダウンロードやサブスクでいくら儲かるの？-1(著作権ビジネス)	プレゼンシミュレーション
11		講義・演習	CDやダウンロードやサブスクでいくら儲かるの？-2(著作権ビジネス)	プレゼンシミュレーション
12		講義・演習	作詞カリキュラム	プレゼンシミュレーション
13		講義・演習	作詞カリキュラム	プレゼンシミュレーション
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アーティストマネジメント(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	上野新
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	30年以上に渡り数多くのアーティストのマネージメント・プロデュース・コンサート制作などを手掛ける。						
授業の学習 内容	マネージャーはアーティストにとって「一番近い存在であり大事なパートナー」であり「アーティストの運命を左右する一番身近なプロデューサー」です。マネージャーの実際の仕事内容を知り、マネージャーの仕事をしてゆく上で必要な知識を学ぶことがこの授業の目的です。学生の皆さんがそれぞれの価値観、感覚で「マネージャーの仕事」を感じ取り、学生の皆さんの将来の夢を叶える土台作りをします。また、マネージャーの仕事や音楽業界の仕事以外に広くエンタメビジネス全般についても学生の皆さんと一緒に考えて行きます。AIなど数多くの新たなエンタメツールが生まれている現在、音楽業界は大きな転換期にあります。過去に囚われないこれからの音楽ビジネスの可能性を学生の皆さんと一緒に考えていきます。						
到達目標	①「マネージャー」の仕事をしてゆく上で必要な知識を学ぶ ②それぞれのキャラクターを大事にしたコミュニケーション能力のスキルアップ ③それぞれのキャラクターを大事にしたクリエイティビティーのスキルアップ ④マネージャーとして必要なマネタイズ(権利周り)の知識を習得						
評価方法と基準	□総合的な授業態度 ・・・出席率 ・・・能動的なアティテュード						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	どうしてアーティスト名やマークって世界にひとつだけなの？(登録商標)	プレゼンシミュレーション
2		講義・演習	実際の仕事の進み方(RECORDING・ジャケット制作編)	プレゼンシミュレーション
3		講義・演習	実際の仕事の進み方(プロモーション編)	プレゼンシミュレーション
4		講義・演習	マナー講座	プレゼンシミュレーション
5		講義・演習	ファンクラブビジネス	プレゼンシミュレーション
6		講義・演習	物販ビジネス	プレゼンシミュレーション
7		講義・演習	俳優事務所の仕事内容	プレゼンシミュレーション
8		講義・演習	出演料の計算方法	プレゼンシミュレーション
9		講義・演習	有料広告	プレゼンシミュレーション
10		講義・演習	ライブ制作	プレゼンシミュレーション
11		講義・演習	新人発掘	プレゼンシミュレーション
12		講義・演習	ゲスト講師	プレゼンシミュレーション
13		講義・演習	今後のエンタメビジネス	プレゼンシミュレーション
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ムービングBasic(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	橋本真也
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	ライブ、コンサート、お芝居、施設照明のプラン、ムービングライトのオペレートを行う。						
授業の学習 内容	現代に於いて必須とも言えるムービングライト、その特性と機能を学ぶ。						
到達目標	ムービングライトの仕込みが出来る。 グランドMAでの簡単なシーンの作成、修正。 何度も触って、失敗して、機材に慣れる。						
評価方法と基準	筆記,または実技テストによる採点。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業の進め方、LS1使用方法、基本的なアクセス	レポート
2		講義・演習	ムービングの主な機能を知る。注意事項を知る。仕込み。	レポート
3		講義・演習	簡単なシーンの作成。卓の主な用語、機能を学ぶ。	レポート
4		講義・演習	シーンの作成。バックアップ。	レポート
5		講義・演習	シーケンスの扱い。タイム。	レポート
6		講義・演習	卓の基本的なセットアップ。	レポート
7		講義・演習	卓の基本的なセットアップ。	レポート
8		講義・演習	小復習。	レポート
9		講義・演習	ムービングライトの基本的なセッティング。	レポート
10		講義・演習	チェイスの作成。修正。	レポート
11		講義・演習	キューのリンク、ループ。	レポート
12		講義・演習	プリセットの作成、修正、使用。	レポート
13		講義・演習	テスト？フェーダー、ボタンの機能変更。	レポート
14		講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してムービングの効果的使用方法を学ぶ	レポート
15		講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通してムービングの効果的使用方法を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習			基本的にレポート等にまとめてアウトプット。可能であればonPCを利用して復習。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ムービングBasic(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	橋本真也
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	ライブ、コンサート、お芝居、施設照明のプラン、ムービングライトのオペレートを行う。						
授業の学習 内容	現代に於いて必須とも言えるムービングライト、その特性と機能を学ぶ。						
到達目標	パッチの変更ができる。 様々な卓で、簡単なムービングの操作ができる。						
評価方法と基準	筆記、または実技テストによる採点。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	パッチ基本。	レポート
2		講義・演習	エフェクト基本。	レポート
3		講義・演習	エフェクト続き。	レポート
4		講義・演習	仕込みに関して。	レポート
5		講義・演習	パール、アリーナでの操作。	レポート
6		講義・演習	GMA1,2onPC操作。	レポート
7		講義・演習	GrandMA3Dについて。	レポート
8		講義・演習	小復習。	レポート
9		講義・演習	VIEW作成。	レポート
10		講義・演習	シーケンスの設定関連。	レポート
11		講義・演習	マトリックス、クイッキーを詳しく。	レポート
12		講義・演習	明かり作り練習。	レポート
13		講義・演習	テスト？明かり作り練習。	レポート
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			基本的にレポート等にまとめてアウトプット。可能であればonPCを利用して復習。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベントプロデュース(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	高田雄貴
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	大手イベントのキョードーからライブ、コンサート制作の道に入り、テレビ番組関連のイベントも担当。 TOKYO IDOL FESTIVAL等の大型ライブイベント、「めざましライブ」「Mステスーパーライブ」や斉藤和義ら国内外アーティストのツアー制作。2014夏のお台場新大陸も担当。						
授業の学習 内容	[1] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)についての基礎知識を学習する [2] 音楽ビジネスのコア3ビジネスのうちイベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)について学ぶ中から企画実務の基本を学習する						
到達目標	[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で業界人として必要な心構えを構築する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験 (評価割合 40%) [2] 受講態度 ※レポート課題提出 (評価割合 60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	はじめに ～ 企画って何？	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
2		講義・演習	企画は誰の為 を理解する	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
3		講義・演習	会場について理解する	全国のホールを調査する
4		講義・演習	5W1Hを理解する	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
5		講義・演習	イベント本番の時間的流れを理解する	モデルタイムテーブルの作成し提出
6		講義・演習	メディアとプロモーションを理解する	メディアネットアークの調査
7		講義・演習	ホームページとSNSを理解する	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
8		講義・演習	マーケットについて知る	シンクタンクのレポートを確認する
9		講義・演習	売れてる？ヒットチャートを理解する	ヒットチャート調査のリスト化
10		講義・演習	スタッフについて知る	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
11		講義・演習	集客するには(入場券とプレイガイド)を理解する	プレイガイドを研究しまとめたものを提出
12		講義・演習	イベントのビジネスモデルを知る	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
13		講義・演習	企画立案しプレゼンする	アーティスト活動調査
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	
【使用教科書・教材・参考書】				
昨年度実績の概要書・終了報告書参照・自作PPT				

科目名	イベントプロデュース(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	高田雄貴
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	大手イベントのキョードーからライブ、コンサート制作の道に入り、テレビ番組関連のイベントも担当。 TOKYO IDOL FESTIVAL等の大型ライブイベント、「めざましライブ」「Mステスーパーライブ」や斉藤和義ら国内外アーティストのツアー制作。2014夏のお台場新大陸も担当。						
授業の学習 内容	[1] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)についての基礎知識を学習する [2] 音楽ビジネスのコア3ビジネスのうちイベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)について学ぶ中から企画実務の基本を学習する						
到達目標	[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で業界人として必要な心構えを構築する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験 (評価割合 40%) [2] 受講態度 ※レポート課題提出 (評価割合 60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	企画項目を整理する	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
2		講義・演習	企画書作成の準備をする・1	アーティストを調査しレポートとして提出
3		講義・演習	企画書作成の準備をする・2	夏フェスティバルを調査しレポートとして提出
4		講義・演習	実在のイベントをモデルに企画書化する・1	イベントを調査しレポートとして提出
5		講義・演習	実在のイベントをモデルに企画書化する・2	モデルタイムテーブルの作成
6		講義・演習	会場設備理論(全国の会場を分析する)ホール編	全国のホールを調査してレポートとして提出
7		講義・演習	会場設備理論(全国の会場を分析する)ライブハウス編	全国のライブハウスを調査してレポートとして提出
8		講義・演習	会場設備理論(全国の会場を分析する)アリーナスタジアム編	全国のアリーナスタジアムを調査してレポートとして提出
9		講義・演習	イベント企画の研究	オリンピックについて調査してレポートとして提出
10		講義・演習	イベントと法規	消防申請について調査しレポートとして提出
11		講義・演習	単体イベントとツアー	クリスマスツアーを調査しレポートとして提出
12		講義・演習	ツアーの企画を立案する	交通インフラを調査してレポートとして提出する
13		講義・演習	イベントのスタイルとビジネスモデル	ACPCの資料を検証しレポートとして提出
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	
【使用教科書・教材・参考書】				
昨年度実績の概要書・終了報告書参照・自作PPT				

科目名	映像撮影編集(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	小野田奨
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	主にMVやストリートダンス動画などを制作する動画クリエイターとして活躍。制作動画のジャンルは、Youtube動画、イベントや企業様のPR動画を行う。						
授業の学習 内容	映像制作を通して、撮影編集に関する基本的な知識・スキルを学ぶ						
到達目標	映像制作の基本的なテクニックを身に付け、 今後映像制作にかかわる際に役立てることができる						
評価方法と基準	課題 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーション	課題制作
2		講義・演習	PremierePro基礎①	課題制作
3		講義・演習	PremierePro基礎②	課題制作
4		講義・演習	MV制作①	課題制作
5		講義・演習	MV制作②	課題制作
6		講義・演習	カメラの取り扱いについて①	課題制作
7		講義・演習	カメラの取り扱いについて②	課題制作
8		講義・演習	Youtube動画制作①	課題制作
9		講義・演習	Youtube動画制作②	課題制作
10		講義・演習	Youtube動画制作③	課題制作
11		講義・演習	課題制作①	課題制作
12		講義・演習	課題制作②	課題制作
13		講義・演習	課題制作③	課題制作
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業において提示する課題を各授業後に90分以上取り組むこと	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	映像撮影編集(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	小野田奨
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	主にMVやストリートダンス動画などを制作する動画クリエイターとして活躍。制作動画のジャンルは、Youtube動画、イベントや企業様のPR動画を行う。						
授業の学習 内容	映像制作を通して、撮影編集に関する基本的な知識・スキルを学ぶ						
到達目標	映像制作の基本的なテクニックを身に付け、 今後映像制作にかかわる際に役立てることができる						
評価方法と基準	課題 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の振り返り	課題制作
2		講義・演習	SNS動画	課題制作
3		講義・演習	SNS動画	課題制作
4		講義・演習	三脚・ジンバルの使い方	課題制作
5		講義・演習	画角について	課題制作
6		講義・演習	撮影実践	課題制作
7		講義・演習	Ae基礎	課題制作
8		講義・演習	AfterEffects + 実写①	課題制作
9		講義・演習	AfterEffects + 実写②	課題制作
10		講義・演習	AfterEffects + 実写③	課題制作
11		講義・演習	課題制作①	課題制作
12		講義・演習	課題制作②	課題制作
13		講義・演習	課題制作③	課題制作
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業において提示する課題を各授業後に90分以上取り組むこと	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	機材メンテナンス(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	小林寛太郎
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2003年よりPA業務に従事。						
授業の学習 内容	基礎的な工具の使い方やハンダづけなどを習得し、日頃使用する機材のメンテナンス方法を学ぶことで、機材に対する知識と愛情を深めていく。						
到達目標	学んだ知識と技術を基に、日常使用する機材の保守メンテナンスを自ら行えるようにする。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	工具の種類と用途を理解し、注意すべき点を把握する。	工具の種類と用途についての復習レポートを作成。	
2		講義・演習	半田付け①下処理を学ぶ。	半田付けの下処理について復習レポートを作成。	
3		講義・演習	半田付け②キャノンフォンとケーブルの半田付けを学ぶ。	キャノンフォンとケーブルの半田付けについて復習レポートを作成。	
4		講義・演習	半田付け③プラグとケーブルの半田付けを学ぶ。	プラグとケーブルの半田付けについて復習レポートを作成。	
5		講義・演習	半田付け④NL4の半田付けを学ぶ。	NL4の半田付けについて復習レポートを作成。	
6		講義・演習	マイクロフォンのメンテナンス方法を学ぶ。	マイクロフォンのメンテナンス方法について復習レポートを作成。	
7		講義・演習	マイクスタンドのメンテナンス方法を学ぶ。	マイクスタンドのメンテナンス方法について復習レポートを作成。	
8		講義・演習	パワーアンプのメンテナンス方法を学ぶ。	パワーアンプのメンテナンス方法について復習レポートを作成。	
9		講義・演習	ケーブル類のメンテナンスを学ぶ（１）	ケーブル類のメンテナンスについて復習レポートを作成。	
10		講義・演習	ケーブル類のメンテナンスを学ぶ（２）	ケーブル類のメンテナンスについて復習レポートを作成。	
11		講義・演習	デジタルミキサーのメンテナンスを学ぶ。	デジタルミキサーのメンテナンスについて復習レポートを作成。	
12		講義・演習	デジタルデータの整理方法を学ぶ。	デジタルデータの整理方法について復習レポートを作成。	
13		講義・演習	明日への扉で使用する音響機材のメンテナンスを事前に行なう。	メンテナンスした機材のリストを整理する。	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			授業内容についての復習レポートを作成し、学校のPA機材のメンテナンスを各自で行なう。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	機材メンテナンス (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	小林寛太郎
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2003年よりPA業務に従事。						
授業の学習 内容	基礎的な工具の使い方やハンダづけなどを習得し、日頃使用する機材のメンテナンス方法を学ぶことで、機材に対する知識と愛情を深めていく。						
到達目標	学んだ知識と技術を基に、日常使用する機材の保守メンテナンスを自ら行えるようにする。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	スピーカーのメンテナンス方法を学ぶ(1)	学内にあるスピーカーの状態を調べておく。
2		講義・演習	スピーカーのメンテナンス方法を学ぶ(2)	スピーカーの構造をあらためて復習する。
3		講義・演習	スピーカーのメンテナンス方法を学ぶ(3)	学内機材のメンテナンスを進めておく。
4		講義・演習	アナログミキサーのメンテナンスを学ぶ(1)	学内にあるアナログミキサーの状態を調べておく。
5		講義・演習	アナログミキサーのメンテナンスを学ぶ(2)	授業内容の復習レポートを作成する。
6		講義・演習	アナログミキサーのメンテナンスを学ぶ(3)	学内機材のメンテナンスを進めておく。
7		講義・演習	ワイヤレスシステムのトラブル対策を学ぶ(1)	学内にあるワイヤレスシステムの状態を調べておく。
8		講義・演習	ワイヤレスシステムのトラブル対策を学ぶ(2)	授業内容の復習レポートを作成する。
9		講義・演習	ワイヤレスシステムのトラブル対策を学ぶ(3)	学内機材のメンテナンスを進めておく。
10		講義・演習	We areで使用する機材のメンテナンスをする、(1)	学内にある機材の状態を調べる。
11		講義・演習	We areで使用する機材のメンテナンスをする、(2)	メンテナンスした機材のリストを整理する。
12		講義・演習	We areで使用する機材のメンテナンスをする、(3)	メンテナンスを各自進めておく。
13		講義・演習	We areで不具合の出た機材のメンテナンスをする。	イベント時に問題が起きた機材の情報をまとめておく。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容についての復習レポートを作成し、学校のPA機材のメンテナンスを各自で行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベントプロデュース(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	高田雄貴
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	大手イベントのキョードーからライブ、コンサート制作の道に入り、テレビ番組関連のイベントも担当。 TOKYO IDOL FESTIVAL等の大型ライブイベント、「めざましライブ」「Mステスーパーライブ」や斉藤和義ら国内外アーティストのツアー制作。2014夏のお台場新大陸も担当。						
授業の学習 内容	[1] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)についての基礎知識を学習する [2] 音楽ビジネスのコア3ビジネスのうちイベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)について学ぶ中から企画実務の基本を学習する						
到達目標	[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で業界人として必要な心構えを構築する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験 (評価割合 40%) [2] 受講態度 ※レポート課題提出 (評価割合 60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	はじめに ～ 企画って何？	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
2		講義・演習	企画は誰の為 を理解する	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
3		講義・演習	会場について理解する	全国のホールを調査する
4		講義・演習	5W1Hを理解する	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
5		講義・演習	イベント本番の時間的流れを理解する	モデルタイムテーブルの作成し提出
6		講義・演習	メディアとプロモーションを理解する	メディアネットアークの調査
7		講義・演習	ホームページとSNSを理解する	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
8		講義・演習	マーケットについて知る	シンクタンクのレポートを確認する
9		講義・演習	売れてる？ヒットチャートを理解する	ヒットチャート調査のリスト化
10		講義・演習	スタッフについて知る	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
11		講義・演習	集客するには(入場券とプレイガイド)を理解する	プレイガイドを研究しまとめたものを提出
12		講義・演習	イベントのビジネスモデルを知る	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
13		講義・演習	企画立案しプレゼンする	アーティスト活動調査
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	
【使用教科書・教材・参考書】				
昨年度実績の概要書・終了報告書参照・自作PPT				

科目名	イベントプロデュース(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	高田雄貴
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	大手イベントのキョードーからライブ、コンサート制作の道に入り、テレビ番組関連のイベントも担当。 TOKYO IDOL FESTIVAL等の大型ライブイベント、「めざましライブ」「Mステスーパーライブ」や斉藤和義ら国内外アーティストのツアー制作。2014夏のお台場新大陸も担当。						
授業の学習 内容	[1] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)についての基礎知識を学習する [2] 音楽ビジネスのコア3ビジネスのうちイベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)について学ぶ中から企画実務の基本を学習する						
到達目標	[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で業界人として必要な心構えを構築する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験 (評価割合 40%) [2] 受講態度 ※レポート課題提出 (評価割合 60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	企画項目を整理する	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
2		講義・演習	企画書作成の準備をする・1	アーティストを調査しレポートとして提出
3		講義・演習	企画書作成の準備をする・2	夏フェスティバルを調査しレポートとして提出
4		講義・演習	実在のイベントをモデルに企画書化する・1	イベントを調査しレポートとして提出
5		講義・演習	実在のイベントをモデルに企画書化する・2	モデルタイムテーブルの作成
6		講義・演習	会場設備理論(全国の会場を分析する)ホール編	全国のホールを調査してレポートとして提出
7		講義・演習	会場設備理論(全国の会場を分析する)ライブハウス編	全国のライブハウスを調査してレポートとして提出
8		講義・演習	会場設備理論(全国の会場を分析する)アリーナスタジアム編	全国のアリーナスタジアムを調査してレポートとして提出
9		講義・演習	イベント企画の研究	オリンピックについて調査してレポートとして提出
10		講義・演習	イベントと法規	消防申請について調査しレポートとして提出
11		講義・演習	単体イベントとツアー	クリスマスツアーを調査しレポートとして提出
12		講義・演習	ツアーの企画を立案する	交通インフラを調査してレポートとして提出する
13		講義・演習	イベントのスタイルとビジネスモデル	ACPCの資料を検証しレポートとして提出
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	
【使用教科書・教材・参考書】				
昨年度実績の概要書・終了報告書参照・自作PPT				

科目名	コンサートAdvance (3) (PA Advance (3))	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	新部有亮
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴	ROCK IN JAPAN FESTIVALやCOUNT DOWN JAPANなどのツアースタッフなどに参加。 中国、香港、台湾などのアジアの活動業務のプロジェクトマネージャーも担当し、世界で活躍するPAエンジニア。実務歴15年以上						
授業の学習 内容	楽器をオペレートするために必要となる音作りの知識と技術を学ぶ。 本番時のトラブル等に対処できる行動力を養う。 PAアシスタントとして実際の現場で必要とされる人材を育成する。						
到達目標	歌ものだけではなく、バンドのオペレートも出来るようになる。 イベント本番時のトラブル等に対処できるような行動力をつける。						
評価方法と基準	実技試験						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	音作り① DRUM単体を学ぶ	CDなどで自分の好きな音を探す
2		講義・演習	音作り② DRUM全体を学ぶ	CDなどで自分の好きな音を探し準備しておく。
3		講義・演習	音作り③ BASS,GTRを学ぶ	CDなどで自分の好きな音を探し準備しておく。
4		講義・演習	音作り④ KEY,PERCを学ぶ	CDなどで自分の好きな音を探し準備しておく。
5		講義・演習	音作り⑤ BAND全体を学ぶ	CDなどで自分の好きな音を探し準備しておく。
6		講義・演習	シミュレーションライブを通してオペレート経験を積む。	事前に曲をしっかりと聞いておく。
7		講義・演習	本番ライブを通してオペレート経験を積む。	事前に曲をしっかりと聞いておく。
8		講義・演習	ワイヤレスについて理解する	PCの最低限の使い方を確認しておく。
9		講義・演習	Workbenchの使用方法を学ぶ	Workbenchの最低限の使い方
10		講義・演習	Ablrton Liveの使用方法を学ぶ	Ablrton Liveの最低限の使い方
11		講義・演習	卒業制作展に向けての最終確認	資料を集めておく
12		講義・演習	卒業制作展でPAを担当する。	現場で気付いた事柄をまとめておく。
13		講義・演習	卒業制作展でPAを担当する。	現場で気付いた事柄をまとめておく。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業で学んだ内容についての復習レポート作成し、PA機材を調べる。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートAdvance (3) (照明 Advance (3))	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	豊田奈未
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	13年以上照明オペレーター、都内ライブハウスの照明チーフとして従事						
授業の学習 内容	基本的に反復した授業内容。繰り返し必要最低限の基礎知識や基礎技術をこの授業枠で会得しなければ、現場で機能する人材になることができない。またチームワークが大切な職業であるため、火曜日の照明ワークショップと共に人とのコミュニケーション能力の向上も育成ポイント。前述の基礎知識や技術を学生間や学生講師間で議論しながらイメージを膨らます事が不可欠になるので、”会話”しながら授業を進めていく。						
到達目標	①前期から更に増した基礎知識と基礎技術の向上を現場(学内イベント)で生かす。②特に演習時はグループ作業が多いため、様々な事柄をコミュニケーションをとって解決できる人材になる。③照明家の楽しさや難しさを共感、共有できる授業にする事が最大の目標。						
評価方法と基準	1) 定期試験30% 2) 各授業ごとの課題試験10% 3) 実技作業10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	プランナーオペレーター等グループ作業での机上による明かり作りができる	各自課題曲決めと残作業
2		講義・演習	前週内容を発表し、各自の照明内容を分析する事ができる	分析した上で様々な曲テーマで反復学習
3		講義・演習	シュートにおけるさおの使い方、現場で求められるさおの技術を習得する	左記を様々なケースで反復学習
4		講義・演習	器材の愛情を養い、メンテナンスを通じて仕組みを知り工具の使い方や器材の構造を覚える	左記を様々な器材でメンテナンス
5		講義・演習	コミュニケーションをとりながら仕込み、さおの操作ができる	左記を様々なケースで反復学習
6		講義・演習	プランナーオペレーター等グループ作業での机上による明かり作りができる	各自課題曲決めと残作業
7		講義・演習	前週内容を発表し、各自の照明内容を分析する事ができる	分析した上で様々な曲テーマで反復学習
8		講義・演習	シュートにおけるさおの使い方、現場で求められるさおの技術を習得する	左記を様々なケースで反復学習
9		講義・演習	器材の愛情を養い、メンテナンスを通じて仕組みを知り工具の使い方や器材の構造を覚える	左記を様々な器材でメンテナンス
10		講義・演習	シュートにおけるさおの使い方、現場で求められるさおの技術を習得する	左記を様々なケースで反復学習
11		講義・演習	演目に対する理解と明かり作りの実践、イベントの明かり作り、打ち込みができる①	各自与えられた演目の内容を深く理解する
12		講義・演習	卒業制作展の照明スタッフとして参加し、照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
13		講義・演習	卒業制作展の照明スタッフとして参加し、照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			事前学習60分・時間外学習は時間でなく各項目3パターン	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートAdvance (3) (舞台監督演習Advance (3))	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	北英樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年以上						
授業の学習 内容	舞台監督 舞台制作に関する 1年時で学んだ事を基礎知識にして 選りスキルアップする為の 講義 及び 実技口						
到達目標	舞台監督及び 舞台制作等の具体的内容を習得して 将来的な仕事での知識 及び即戦力に 繋げる						
評価方法と基準	1) 定期試験90% 2) 小テスト5% 3) レポート・論文5% 1) 定期テスト50% 2) 出席数50% 1) 定期テスト(筆記50% 実技50%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーション 授業内容の説明	授業日時 時間を調べる □
2		講義・演習	舞台監督に関しての応用知識 を理解する	1 年時 の 舞台監督講義 の 復習□
3		講義・演習	舞台演出 に関して 理解する	舞台演出 とは 何かの 復習
4		講義・演習	舞台制作 に関して 理解する	1 年時 学園祭の 復習□
5		講義・演習	音楽 の 同期 に関して 確実に 理解する□	音楽 の 同期 とは何か調べる
6		講義・演習	舞台美術に関しての応用知識を理解する	1 年時 舞台美術の 復習
7		講義・演習	中間試験 及び 復習講義	講義の内容の復習をする
8		講義・演習	舞台美術 の 素材に関して 理解する□	舞台美術 の素材を調べる
9		講義・演習	舞台 での 安全 に関して 確実に理解する□	舞台上での 危険性 を調べる□
10		講義・演習	学園祭 の 舞台制作 に関して 理解する	学園祭の 内容 の 把握□
11		講義・演習	前期講義内容を復習し確実な知識とする	前期の授業内容を見直す
12		講義・演習	学園祭 の 舞台監督 を 理解する	学園祭の 作成資料 の 把握□
13		講義・演習	前期 テスト（筆記 及び 実技）	前期の全ての授業内容の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			準備学習 各授業のテーマを調べて下さい 時間外学習 授業日の曜日に必ず復習して下さい	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートAdvance (3) (イベント制作運営演習(3))	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	唐澤淳
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	これまで数多くのアーティストマネージャーを務め、様々な現場でプロデューサー、舞台監督、デザイナーとして活躍するいくつもの顔を持っているマルチ業界人。						
授業の学習 内容	江戸川文化センターで行われる骨髄移植推進キャンペーンニュージカル「明日への扉」の公演を教材にイベントスタッフとして必要な運営・制作の知識を実践的に学ぶ。 実践で行うことにより、舞台を創る流れや細かな段取りを学びながら業界に必要な人材として成長していく。						
到達目標	運営・制作の流れが理解出来る。 公演の際にスタッフの一員として参加出来る。						
評価方法と基準	授業の中でのレポート提出 30% 「明日への扉」に関しての積極的な発言や態度。関わりや、本番日の行動力、スタッフの一員として成り立っているか。それぞれに与えられた担当のなかで仕事を全うしているかを評価 70%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	「明日への扉」の内容について触れ、本公演を開催する意義を理解する	骨髄移植を推進するプロモーションをレポート用紙にて提出する
2		講義・演習	運営のセクションの流れと段取りを学ぶ	運営とはどのような役割かをレポートにまとめ提出
3		講義・演習	制作のセクションの流れと段取りを学ぶ	制作とはどのような役割かをレポートにまとめ提出
4		講義・演習	その他のセクション（PA・照明・舞台・衣装管理・メイク）の流れと段取りを学ぶ	昨年のマニュアルを参考にに関わり時期を調べておく
5		講義・演習	運営スタッフ・制作スタッフ共通して使用する機材や備品の使い方について学ぶ	昨年のマニュアルを参考に実際に使用していた時期を調べておく
6		講義・演習	各希望セクションに分かれ、運営：公演概要と運営方法を学ぶ 制作：稽古スケジュールを基に稽古期間の流れや段取りを学ぶ	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
7		講義・演習	運営：チケット発売方法と管理方法を学ぶ 制作：台本の使い方を学ぶ・稽古会場の仕込みを学ぶ	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
8		講義・演習	運営：協賛の必要性を学び協力をお願いする 制作：制作スケジュールの作成・各セクション番表を作成	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
9		講義・演習	運営：ホールRHに伴う会場下見、必要備品の準備・調達 制作：ホールRHに伴う会場下見・使用会場の申請・楽屋振り分け	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
10		講義・演習	運営：運営方法を学びマニュアルを作成する 制作：搬入・搬出方法を学ぶ・機材管理を学ぶ	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
11		講義・演習	運営：運営マニュアル読み合わせ 制作：各セクションへの伝達事項を学び実践する	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
12		講義・演習	「明日への扉」運営・制作スタッフとして公演を成功させる（実践的に各セクションについての当日の流れを学ぶ）	実践的に各セクションに取り組む
13		講義・演習	「明日への扉」運営・制作スタッフとして公演を成功させる（実践的に各セクションについての当日の流れを学ぶ）	実践的に各セクションに取り組む
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認する。	
【使用教科書・教材・参考書】				
昨年度卒業・進級制作展運営マニュアル・概要書・終了報告書				

科目名	コンサートAdvance (4) (PA Advance (4))	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	新部有亮
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴	ROCK IN JAPAN FESTIVALやCOUNT DOWN JAPANなどのツアースタッフなどに参加。 中国、香港、台湾などのアジアの活動業務のプロジェクトマネージャーも担当し、世界で活躍するPAエンジニア。実務歴15年以上						
授業の学習 内容	楽器をオペレートするために必要となる音作りの知識と技術を学ぶ。 本番時のトラブル等に対処できる行動力を養う。 PAアシスタントとして実際の現場で必要とされる人材を育成する。						
到達目標	歌ものだけではなく、バンドのオペレートも出来るようになる。 イベント本番時のトラブル等に対処できるような行動力をつける。						
評価方法と基準	実技試験						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	音作り① DRUM単体を学ぶ	CDなどで自分の好きな音を探す
2		講義・演習	音作り② DRUM全体を学ぶ	CDなどで自分の好きな音を探し準備しておく。
3		講義・演習	音作り③ BASS,GTRを学ぶ	CDなどで自分の好きな音を探し準備しておく。
4		講義・演習	音作り④ KEY,PERCを学ぶ	CDなどで自分の好きな音を探し準備しておく。
5		講義・演習	音作り⑤ BAND全体を学ぶ	CDなどで自分の好きな音を探し準備しておく。
6		講義・演習	シミュレーションライブを通してオペレート経験を積む。	事前に曲をしっかり聞いておく。
7		講義・演習	本番ライブを通してオペレート経験を積む。	事前に曲をしっかり聞いておく。
8		講義・演習	ワイヤレスについて理解する	PCの最低限の使い方を確認しておく。
9		講義・演習	Workbenchの使用方法を学ぶ	Workbenchの最低限の使い方
10		講義・演習	Ableton Liveの使用方法を学ぶ	Ableton Liveの最低限の使い方
11		講義・演習	卒業制作展に向けての最終確認	資料を集めておく
12		講義・演習	卒業制作展でPAを担当する。	現場で気付いた事柄をまとめておく。
13		講義・演習	卒業制作展でPAを担当する。	現場で気付いた事柄をまとめておく。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートやイベントに向けての準備、リハーサルを行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートAdvance (4) (照明 Advance (4))	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	豊田奈未
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	13年以上照明オペレーター、都内ライブハウスの照明チーフとして従事						
授業の学習 内容	基本的に反復した授業内容。繰り返し必要最低限の基礎知識や基礎技術をこの授業枠で会得しなければ、現場で機能する人材になることができない。またチームワークが大切な職業であるため、火曜日の照明ワークショップと共に人とのコミュニケーション能力の向上も育成ポイント。前述の基礎知識や技術を学生間や学生講師間で議論しながらイメージを膨らます事が不可欠になるので、“会話”しながら授業を進めていく。						
到達目標	①前期から更に増した基礎知識と基礎技術の向上を現場(学内イベント)で生かす。②特に演習時はグループ作業が多いため、様々な事柄をコミュニケーションをとって解決できる人材になる。③照明家の楽しさや難しさを共感、共有できる授業にする事が最大の目標。						
評価方法と基準	1) 定期試験30% 2) 各授業ごとの課題試験10% 3) 実技作業10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	プランナーオペレーター等グループ作業での机上による明かり作りができる	各自課題曲決めと残作業
2		講義・演習	前週内容を発表し、各自の照明内容を分析する事ができる	分析した上で様々な曲テーマで反復学習
3		講義・演習	シュートにおけるさおの使い方、現場で求められるさおの技術を習得する	左記を様々なケースで反復学習
4		講義・演習	器材の愛情を養い、メンテナンスを通じて仕組みを知り工具の使い方や器材の構造を覚える	左記を様々な器材でメンテナンス
5		講義・演習	コミュニケーションをとりながら仕込み、さおの操作ができる	左記を様々なケースで反復学習
6		講義・演習	プランナーオペレーター等グループ作業での机上による明かり作りができる	各自課題曲決めと残作業
7		講義・演習	前週内容を発表し、各自の照明内容を分析する事ができる	分析した上で様々な曲テーマで反復学習
8		講義・演習	シュートにおけるさおの使い方、現場で求められるさおの技術を習得する	左記を様々なケースで反復学習
9		講義・演習	器材の愛情を養い、メンテナンスを通じて仕組みを知り工具の使い方や器材の構造を覚える	左記を様々な器材でメンテナンス
10		講義・演習	シュートにおけるさおの使い方、現場で求められるさおの技術を習得する	左記を様々なケースで反復学習
11		講義・演習	演目に対する理解と明かり作りの実践、イベントの明かり作り、打ち込みができる①	各自与えられた演目の内容を深く理解する
12		講義・演習	卒業制作展の照明スタッフとして参加し、照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
13		講義・演習	卒業制作展の照明スタッフとして参加し、照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートAdvance (4) (舞台監督演習Advance (4))	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	北英樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年以上						
授業の学習 内容	舞台監督 舞台制作に関する 1年時で学んだ事を基礎知識にして 選りスキルアップする為の 講義 及び 実技						
到達目標	舞台監督 及び 舞台制作等の具体的内容を習得して 将来的な仕事での知識 及び即戦力に 繋げる						
評価方法と基準	1) 定期試験90% 2) 小テスト5% 3) レポート・論文5% 1) 定期テスト50% 2) 出席数50% 1) 定期テスト(筆記50% 実技50%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	舞台制作に関しての応用力を取得する	1年時2年前期の舞台制作授業の復習
2		講義・演習	譜面に関して理解する	譜面について調べる
3		講義・演習	禁止行為解除の申請に関して理解する	禁止行為解除の申請について調べる
4		講義・演習	禁止行為解除の申請資料作成を理解する	禁止行為解除の申請の種類を調べる
5		講義・演習	舞台での映像に関しての復習理解	舞台に於ける映像について調べる
6		講義・演習	舞台監督の現場での現状を理解する	現場での舞台監督の仕事の復習
7		講義・演習	中間試験及び復習講義	講義の内容の復習をする
8		講義・演習	舞台演出に関しての理解する	1年時2年前期の舞台演出授業の復習
9		講義・演習	様々な舞台演出について理解する	様々な舞台演出について調べる
10		講義・演習	Weaerの資料作成1	作成する資料の内容の把握
11		講義・演習	Weaerの資料作成2	作成する資料の内容の把握
12		講義・演習	後期授業内容の復習週	後期の授業内容を見直す
13		講義・演習	後期テスト(筆記)	レポート提出
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			基本的にレポート等にまとめてアウトプット。可能であればonPCを利用して復習。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートAdvance (4) (イベント制作運営演習(4))	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	唐澤淳
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	これまで数多くのアーティストマネージャーを務め、様々な現場でプロデューサー、舞台監督、デザイナーとして活躍するいくつもの顔を持っているマルチ業界人。						
授業の学習 内容	ZEPPTOKYOで行われる卒業・進級制作展weareTSM！TSM渋谷！DA TOKYO！の公演を教材にイベントスタッフとして必要な運営・制作の知識を実践的に学ぶ。 実践で行うことにより、コンサートを創る流れや細かな段取りを学びながら業界に必要な人材として成長していく。						
到達目標	運営・制作の流れが理解出来る。 公演の際にスタッフの一員として参加出来る。						
評価方法と基準	授業の中でのレポート提出 30% 「明日への扉」に関しての積極的な発言や態度。関わりや、本番日の行動力、スタッフの一員として成り立っているか。それぞれに与えられた担当のなかで仕事を全うしているかを評価 70%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	卒業・進級制作展の内容について触れ、本公演を開催する意義を理解する	コンセプトの元公演演出の考案レポートを提出
2		講義・演習	運営のセクションの流れと段取りを学ぶ	運営とはどのような役割かをレポートにまとめ提出
3		講義・演習	制作のセクションの流れと段取りを学ぶ	制作とはどのような役割かをレポートにまとめ提出
4		講義・演習	その他のセクション（PA・照明・舞台・衣装管理・メイク）の流れと段取りを学ぶ	昨年のマニュアルを参考にに関わり時期を調べておく
5		講義・演習	運営スタッフ・制作スタッフ共通して使用する機材や備品の使い方について学ぶ	昨年のマニュアルを参考に実際に使用していた時期を調べておく
6		講義・演習	各希望セクションに分かれ、運営：公演概要とコンセプト内容を学ぶ 制作：公演の流れを理解し稽古スケジュールを組む	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
7		講義・演習	運営：座席管理方法を学ぶ 制作：公演演出の流れを理解し機材の管理を行う	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
8		講義・演習	運営：運営マニュアルの作成方法を学び作成する 制作：制作スケジュールの作成・各セクション番盤表を作成	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
9		講義・演習	運営：ホールRHに伴う会場下見、必要備品の準備・調達 制作：ホールRHに伴う会場下見・使用会場の申請・楽屋振り分け	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
10		講義・演習	運営：運営方法を学び作成する 制作：搬入・搬出方法を学ぶ・機材管理を学ぶ	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
11		講義・演習	運営：運営マニュアルの読み合わせ 制作：各セクションへの伝達事項を学び実践する	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
12		講義・演習	卒業・進級制作展運営・制作スタッフとして公演を成功させる（実践的に各セクションについての当日の流れを学ぶ）	実践的に各セクションに取り組む
13		講義・演習	卒業・進級制作展運営・制作スタッフとして公演を成功させる（実践的に各セクションについての当日の流れを学ぶ）	実践的に各セクションに取り組む
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認する。	
【使用教科書・教材・参考書】				
昨年度卒業・進級制作展運営マニュアル・概要書・終了報告書				

科目名	コンサートテクニック(3) (PA ワークショップ(3))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	新部有亮
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 6単位		
教員の略歴	ROCK IN JAPAN FESTIVALやCOUNT DOWN JAPANなどのツアースタッフなどに参加。 中国、香港、台湾などのアジアの活動業務のプロジェクトマネージャーも担当し、世界で活躍するPAエンジニア。実務歴15年以上						
授業の学習 内容	学内イベントや学外イベント、ホール実習などを行なっていく中で基礎的な音響知識の実践を行なっていく。 打合せ、プランニング、仕込み、リハーサル、サウンドチェック、本番、バラシの一連の流れを実際のイベントを通して学び、 経験とする。						
到達目標	PAスタッフとしての基礎的な現場力を身につけ、上級生が下級生に教える中から、自分自身の理解力をより深めると共に 同セクション内の人間関係をも構築する。学内イベントやホール実習を通し、他セクション、ホールスタッフ、演者などの良 好な関係づくりを構築する中から、人としての成長を促し、業界で即戦力として活躍できる人材の育成を目指す。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	顔合わせ自己紹介、機材の持ち方と安全管理について学ぶ。	機材の持ち方と安全管理について復習レポートを作成。
2		講義・演習	マイクとスタンドの種類、ケーブルの巻き方を学ぶ。	マイクとスタンドの種類、ケーブルの巻き方について復習レポートを作成。
3		講義・演習	PA仕込みの練習を行なう。	PA仕込みについて復習レポートを作成。
4		講義・演習	仕込み練習・学園祭セクション決めを行なう。	学園祭セクションで打合せを行なう。
5		講義・演習	仕込み練習・学園祭プランを立てる。	学園祭プランを立てるための打合せや稽古立会い等を行なう。
6		講義・演習	学園祭反省会・明日への扉映像を見た上でセクションを決める。	学園祭反省会・明日への扉映像を見た上でセクションを決める。
7		講義・演習	仕込み練習/LIVE8を学ぶ。	仕込み練習/LIVE8を学ぶ。
8		講義・演習	仕込み練習/Work Benchを学ぶ。	仕込み練習/Work Benchを学ぶ。
9		講義・演習	仕込み練習/DVSを学ぶ。	仕込み練習/DVSを学ぶ。
10		講義・演習	外部ホール実習①外部ホールでの搬入搬出、仕込み、舞台機構、使用マナー等を学ぶ。	外部ホール実習①外部ホールでの搬入搬出、仕込み、舞台機構、使用マナー等を学ぶ。
11		講義・演習	ホール実習②外部ホールで音環境を理解する。	ホール実習②外部ホールで音環境を理解する。
12		講義・演習	ホール実習③外部ホールでのライブシミュレーションを行なう。	ホール実習③外部ホールでのライブシミュレーションを行なう。
13		講義・演習	明日への扉スタッフとして参加し、仕込み、リハーサルを行なう。	明日への扉スタッフとして参加し、仕込み、リハーサルを行なう。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習をレポートとして作成する。イベント等の打合せ、リハーサル立会い、プランニングや資料作成を行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(3) (照明ワークショップ(3))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	橋本真也
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴	ライブ、コンサート、お芝居、施設照明のプラン、ムービングライトのオペレートを行う。						
授業の学習 内容	舞台照明の仕事をするにあたり、基礎を踏まえた内容の授業をメインとする。現場で求められる人間性、技術力、行動力などの人材育成を目的とした実習として、ベーシック、アドバンスを活かした現場総合力を身につけるための授業。実習を繰り返すことで現場で求められる基礎知識と動きなどを覚え即戦力になる人材を育成する。						
到達目標	照明基礎のベーシック、アドバンスを活かしたより実践的な技術の習得と学年を超えた照明スタッフとしてのコミュニケーション力を学び、より現場らしい業務内容の体験の中で社会人になる意識を持たせる。メンテナンスを通じて器材の仕組みや工具の使い方を学ぶ。仕込みバラシと明かり作り作業の反復練習で照明効果の理解を深める。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	火曜の授業の確認や学校イベントなどの把握と協調関係の大事さなどを学ぶ。	授業時に取ったメモを見返して理解を深める。
2		講義・演習	教室機材の器材を覚える。	授業で学んだ内容を復習する。
3		講義・演習	実際に明かりを出しながら基本明かりの解説をし、理解する。	授業で学んだ内容を復習する。
4		講義・演習	光と影が表わす印象と表現を理解する。	授業で学んだ内容を復習する。
5		講義・演習	光の方向性や色から受けるイメージを感じる。	様々なイメージを日常や映像を通して膨らませる。
6		講義・演習	テーマに沿った明かりを表現してみる。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
7		講義・演習	電気基礎の理解をする。	授業内容に即した課題をレポートとして提出する。
8		講義・演習	調光信号とユニットの理解をする。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
9		講義・演習	仕込み図を作成する。	授業で学んだ内容を復習する。
10		講義・演習	仕込みバラシをしてみる。	前週の仕込み図を完成させる。
11		講義・演習	前期を終えるにあたり質問復習をする。	質問疑問をまとめてくる。
12		講義・演習	イベントに向けての事前準備をする。	台本や資料に目を通しておく。
13		講義・演習	「明日への扉」照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			常に帰ってからの復習と理解を深め、実習や現場での動きに活かせるようにする。	
【使用教科書・教材・参考書】				
ステージ舞台入門				

科目名	コンサートテクニック(3) (舞台制作ワークショップ(3))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	北英樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 6単位		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年以上						
授業の学習 内容	テキストを中心に舞台の基礎を学び、アイドルイベントやお笑いイベント、学園祭、明日への扉公演の舞台監督、舞台制作スタッフに必要な知識と技術を実践的に学ぶ。						
到達目標	●知識と基に、作業工程や操作法を身につける。 ●舞台全体を把握できることを目的とする。 ●座学と実習を繰り返して、舞台監督としての成長を目指す。						
評価方法と基準	●資料作成物により評価30% ●イベント後のレポート提出40% ●出席状況30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期講義と舞台制作についての概要説明のオリエンテーションを行う。	自己紹介内容の準備をする。
2		講義・演習	基本用語（舞台用語）を学ぶ。	スタッフ赤本の復習レポート作成と予習
3		講義・演習	基本用語（舞台セット）を学ぶ。	スタッフ赤本の復習レポート作成と予習
4		講義・演習	基本用語（舞台進行）を学ぶ。	イベント打合せ、資料の作成
5		講義・演習	学園祭準備を通して制作を学ぶ。	イベント打合せ、資料の作成
6		講義・演習	学園祭反省会と引き継ぎ作業を行う。	学園祭時に使用した資料の整理をする。
7		講義・演習	基本用語（各セクション）を学ぶ。	実習準備
8		講義・演習	舞台備品（箱馬・平台）について理解する。	実習準備
9		講義・演習	舞台備品（幕）について理解する。	イベント打合せ、資料の作成
10		講義・演習	舞台備品（ステージ設営）について理解する。	イベント打合せ、資料の作成
11		講義・演習	舞台備品（大道具部材）について理解する。	授業内容を復習しレポートを作成。
12		講義・演習	舞台備品（繋ぐ・切る・結ぶ）について理解する。	授業内容を復習しレポートを作成。
13		講義・演習	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の仕組み、進行、転換等を実践的に学ぶ。	打合せ、稽古立会い、資料の作成。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートを作成し、イベントの打合せ、タイムテーブルや進行表等の資料作成を行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				
スタッフ赤本・コース教材(メジャー・手袋・カッター)				

科目名	コンサートテクニック(3) (機材メンテナンス(3))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小林寛太郎
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2003年よりPA業務に従事。						
授業の学習 内容	基礎的な工具の使い方やハンダづけなどを習得し、日頃使用する機材のメンテナンス方法を学ぶことで、機材に対する知識と愛情を深めていく。						
到達目標	学んだ知識と技術を基に、日常使用する機材の保守メンテナンスを自ら行えるようにする。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	工具の種類と用途を理解し、注意すべき点を把握する。	工具の種類と用途についての復習レポートを作成。
2		講義・演習	半田付け①下処理を学ぶ。	半田付けの下処理について復習レポートを作成。
3		講義・演習	半田付け②キャノンフォンとケーブルの半田付けを学ぶ。	キャノンフォンとケーブルの半田付けについて復習レポートを作成。
4		講義・演習	半田付け③プラグとケーブルの半田付けを学ぶ。	プラグとケーブルの半田付けについて復習レポートを作成。
5		講義・演習	半田付け④NL4の半田付けを学ぶ。	NL4の半田付けについて復習レポートを作成。
6		講義・演習	マイクロフォンのメンテナンス方法を学ぶ。	マイクロフォンのメンテナンス方法について復習レポートを作成。
7		講義・演習	マイクスタンドのメンテナンス方法を学ぶ。	マイクスタンドのメンテナンス方法について復習レポートを作成。
8		講義・演習	パワーアンプのメンテナンス方法を学ぶ。	パワーアンプのメンテナンス方法について復習レポートを作成。
9		講義・演習	ケーブル類のメンテナンスを学ぶ(1)	ケーブル類のメンテナンスについて復習レポートを作成。
10		講義・演習	ケーブル類のメンテナンスを学ぶ(2)	ケーブル類のメンテナンスについて復習レポートを作成。
11		講義・演習	デジタルミキサーのメンテナンスを学ぶ。	デジタルミキサーのメンテナンスについて復習レポートを作成。
12		講義・演習	デジタルデータの整理方法を学ぶ。	デジタルデータの整理方法について復習レポートを作成。
13		講義・演習	明日への扉で使用する音響機材のメンテナンスを事前に行なう。	メンテナンスした機材のリストを整理する。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容についての復習レポートを作成し、学校のPA機材のメンテナンスを各自で行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(4) (PA ワークショップ(4))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	新部有亮
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴	ROCK IN JAPAN FESTIVALやCOUNT DOWN JAPANなどのツアースタッフなどに参加。 中国、香港、台湾などのアジアの活動業務のプロジェクトマネージャーも担当し、世界で活躍するPAエンジニア。実務歴15年以上						
授業の学習 内容	学内イベントや学外イベント、ホール実習などを行なっていく中で基礎的な音響知識の実践を行なっていく。 進級制作展、卒業制作展を成功に導くためのプランニングやオペレーションを学ぶ。						
到達目標	PAスタッフとしての基礎的な現場力を身につけ、上級生が下級生に教える中から、自分自身の理解力をより深めると共に同セクション内の人間関係をも構築することが出来る。学内イベントやホール実習を通し、他セクション、ホールスタッフ、演者などとの良好な関係づくりを構築する中から、人としての成長を促し、業界で即戦力として活躍できる人材の育成を目指す。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	仕込練習/LS9の操作方法を修得する。	LS9の操作方法について復習レポートを作成。
2		講義・演習	仕込練習/X32の操作方法を修得する。	X32の操作方法について復習レポートを作成。
3		講義・演習	仕込練習/QL5の操作方法を修得する。	QL5の操作方法について復習レポートを作成。
4		講義・演習	仕込練習/CL5の操作方法を修得する。	CL5の操作方法について復習レポートを作成。
5		講義・演習	仕込練習/SD8の操作方法を修得する。	SD8の操作方法について復習レポートを作成。
6		講義・演習	外部ホール実習④外部ホールでのアコギ弾き語りライブシミュレーションを行なう。	外部ホールでのアコギ弾き語りライブについて復習レポートを作成。
7		講義・演習	外部ホール実習④外部ホールでのピアノ弾き語りライブシミュレーションを行なう。	外部ホールでのピアノ弾き語りライブについて復習レポートを作成。
8		講義・演習	ホール実習③外部ホールでのバンドライブシミュレーションを行なう。	外部ホールでのバンドライブについて復習レポートを作成。
9		講義・演習	We are TSM渋谷のセクション決めを行ない、打合せをする。	セクションごとの打合せ内容をまとめ資料を作成する。
10		講義・演習	We are TSM渋谷打合せ、プランニングをする。	We are TSM渋谷プランの整理をする。
11		講義・演習	We are TSM渋谷リハーサルを行なう。(1)	We are TSM渋谷リハーサルについて修正変更点をまとめる。
12		講義・演習	We are TSM渋谷リハーサルを行なう。(2)	We are TSM渋谷リハーサルについて修正変更点をまとめる。
13		講義・演習	We are TSM渋谷に参加し、プランニング、リハーサル立会い、資料作成を行なう。	明日への扉スタッフとして参加し、仕込み、リハーサルを行なう。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習をレポートとして作成する。イベント等の打合せ、リハーサル立会い、プランニングや資料作成を行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(4) (照明ワークショップ(4))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	橋本真也
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴	ライブ、コンサート、お芝居、施設照明のプラン、ムービングライトのオペレートを行う。						
授業の学習 内容	舞台照明の仕事をするにあたり基礎を踏まえた内容の授業をメインとし現場で求められる人間性、技術力、行動力などの人材育成を目的とした実習としベーシック、アドバンスを活かした現場総合力を身につけるための授業。実習を繰り返すことで現場で求められる基礎知識と動きなどを覚え即戦力になる人材を育成する。						
到達目標	照明基礎のベーシック、アドバンスを活かしたより実践的な技術の習得と学年を超えた照明スタッフとしてのコミュニケーション力を学びより現場らしい業務内容の体験の中で社会人になる意識を持たせる。メンテナンスを通じて器材の仕組みや工具の使い方を学ぶ。仕込みバラシと明かり作り作業の反復練習で照明効果の理解を深める。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	仕込みバラシをしてみて応用力コミュニケーション力等を身につけること	仕込み図を完成させ当日発表。
2		講義・演習	照明においてのメンテナンス技術を身につける	工具について調べてレポートを作成。
3		講義・演習	仕込みバラシをしてみて応用力コミュニケーション力等を身につけること	仕込み図を完成させ当日発表する。
4		講義・演習	内容考察や符割りプランニングなどの理解	内容考察や符割りプランニングについて復習レポートを作成。
5		講義・演習	仕込みバラシをしてみて応用力コミュニケーション力等を身につけること	仕込み図を完成させ当日発表する。
6		講義・演習	課題曲や個人選曲で発表する	選曲しておく。
7		講義・演習	仕込みバラシをしてみて応用力コミュニケーション力等を身につけること	仕込み図を完成させ当日発表する。
8		講義・演習	課題曲や個人選曲で発表する	選曲しておく。
9		講義・演習	仕込みバラシをしてみて応用力コミュニケーション力等を身につけること	仕込み図を完成させ当日発表する。
10		講義・演習	課題曲や個人選曲で発表する	選曲しておく。
11		講義・演習	卒業公演に向けての机上準備を学ぶ	卒業公演の各種資料をまとめておく。
12		講義・演習	後期まとめとして質問や復習	教科書ノートなどのおさらいをしておく。
13		講義・演習	卒業制作展の照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			課題曲の選曲や仕込み図を作成し、授業内容の復習レポートを作成する。	
【使用教科書・教材・参考書】				
ステージ舞台入門				

科目名	コンサートテクニック(4) (舞台制作ワークショップ(4))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	北英樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 6単位		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年以上						
授業の学習 内容	アイドルイベントやお笑いイベント等を通して舞台監督、舞台制作スタッフに必要な知識と技術を実践的に学ぶ。 また、実習にて舞台機構を操作し習得する。 卒業進級制作展に向けての打合せや作業を行なう。						
到達目標	舞台公演に必要な知識・使用操作方技術を身につけ、公演の進行を自分自身で行えるようになる。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期授業の振り返りと後期講義のオリエンテーションを行う。	PC操作・スタッフ赤本の復習
2		講義・演習	卒業進級制作展開催役割分担を行い、組織体制作りを学ぶ。	授業内容の整理。
3		講義・演習	地絨り・カーペットを敷くスキルを学ぶ。	授業内容の復習レポートを作成。
4		講義・演習	幕を吊る・道具を飾るスキルを学ぶ。	授業内容の復習レポートを作成。
5		講義・演習	コンサートホールを理解し、舞台セットを考察する。	授業内容の復習、資料のまとめをレポートとして作成。
6		講義・演習	学内イベントの舞台進行を実践的に学ぶ。	実習準備をする。
7		講義・演習	学内イベントの舞台進行を実践的に学ぶ。	実習準備をする。
8		講義・演習	卒業進級制作展の制作スケジュールを管理し、演出内容について考察する。	打合せ、資料作成。
9		講義・演習	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う①。	打合せ、資料作成し、仕込み作業を行う。
10		講義・演習	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う②。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
11		講義・演習	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う③。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
12		講義・演習	進級制作展の資料作成とリハーサル、本番の舞台進行を行う④。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
13		講義・演習	卒業進級制作展の資料作成とリハーサル、本番の舞台進行を行う⑤。	打合せ、リハーサル立会い、資料の作成。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートを作成し、イベントの打合せ、タイムテーブルや進行表等の資料作成を行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				
スタッフ赤本				

科目名	コンサートテクニック(4) (機材メンテナンス(4))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小林寛太郎
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2003年よりPA業務に従事。						
授業の学習 内容	基礎的な工具の使い方やハンダづけなどを習得し、日頃使用する機材のメンテナンス方法を学ぶことで、機材に対する知識と愛情を深めていく。						
到達目標	学んだ知識と技術を基に、日常使用する機材の保守メンテナンスを自ら行えるようにする。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	スピーカーのメンテナンス方法を学ぶ(1)	学内にあるスピーカーの状態を調べておく。
2		講義・演習	スピーカーのメンテナンス方法を学ぶ(2)	スピーカーの構造をあらためて復習する。
3		講義・演習	スピーカーのメンテナンス方法を学ぶ(3)	学内機材のメンテナンスを進めておく。
4		講義・演習	アナログミキサーのメンテナンスを学ぶ(1)	学内にあるアナログミキサーの状態を調べておく。
5		講義・演習	アナログミキサーのメンテナンスを学ぶ(2)	授業内容の復習レポートを作成する。
6		講義・演習	アナログミキサーのメンテナンスを学ぶ(3)	学内機材のメンテナンスを進めておく。
7		講義・演習	ワイヤレスシステムのトラブル対策を学ぶ(1)	学内にあるワイヤレスシステムの状態を調べておく。
8		講義・演習	ワイヤレスシステムのトラブル対策を学ぶ(2)	授業内容の復習レポートを作成する。
9		講義・演習	ワイヤレスシステムのトラブル対策を学ぶ(3)	学内機材のメンテナンスを進めておく。
10		講義・演習	We areで使用する機材のメンテナンスをする、(1)	学内にある機材の状態を調べる。
11		講義・演習	We areで使用する機材のメンテナンスをする、(2)	メンテナンスした機材のリストを整理する。
12		講義・演習	We areで使用する機材のメンテナンスをする、(3)	メンテナンスを各自進めておく。
13		講義・演習	We areで不具合の出た機材のメンテナンスをする。	イベント時に問題が起きた機材の情報をまとめておく。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容についての復習レポートを作成し、学校のPA機材のメンテナンスを各自で行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ムービング Advance (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	橋本真也
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	ライブ、コンサート、お芝居、施設照明のプラン、ムービングライトのオペレートを行う。						
授業の学習 内容	現代に於いて必須とも言えるムービングライト、その特性と機能を学ぶ。□						
到達目標	仕込みに応じて、パッチの変更、設定が出来るようにする。 エフェクトを利用した、様々なシーンの作成。 細かな機能を覚えることにより、スムーズにシーンの作成、修正ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記、または実技テストによる採点。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	1年次の復習	レポート
2		講義・演習	パッチ、ステージセットアップ、パンチルト設定。	レポート
3		講義・演習	パッチ、アトリビュート設定関連、マクロ。	レポート
4		講義・演習	SHOW作成を一人ずつ。	レポート
5		講義・演習	メンテナンス、ムービング本体設定。	レポート
6		講義・演習	エフェクト応用	レポート
7		講義・演習	プリセットフィルター、アップデートオプション、ストアオプション。	レポート
8		講義・演習	小復習。	レポート
9		講義・演習	ATコピー、マスター関連、フリーズ。	レポート
10		講義・演習	アトリビュートタイム、ディレイ。	レポート
11		講義・演習	MA1について	レポート
12		講義・演習	GrandMA3D SHOW作成。	レポート
13		講義・演習	テスト、SHOW作成関連。	レポート
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			基本的にレポート等にまとめてアウトプット。可能であればonPCを利用して復習。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ムービング Advance (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	橋本真也
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	ライブ、コンサート、お芝居、施設照明のプラン、ムービングライトのオペレートを行う。						
授業の学習 内容	現代のコンサートや舞台、その他様々なイベントに於ける照明演出で必須となったムービングライト。その特性と機能を学ぶことは、照明会社に就職する上でも非常に有利な条件となります。照明概論や照明BASICとも連動し、学校行事や企業プロジェクトイベント等でオペレートができるように、また将来的にエンターテインメント業界で活躍できる人材となれるよう指導していきます。						
到達目標	各種機能への理解を深め、ビジュアライザーを使い、多い台数への対応。 明かりのバランス、シーンの構成を考慮し、ムービングライトを使用するポイントを考える。						
評価方法と基準	試験60%(実技試験) 出席率40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期復習。明かりのバランスを考える。	授業で学んだ内容を復習し、覚える。
2		講義・演習	ビジュアライザーを使ってマトリックスなどの練習。	授業で学んだ内容を復習し、覚える。
3		講義・演習	フィクスチャーデータ作成。	本日の授業を基に出された課題をレポートとして提出する。
4		講義・演習	仕込みに関して。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
5		講義・演習	DMXin, リモートコントロール。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
6		講義・演習	アリーナ、パール、onPC	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
7		講義・演習	セットアップに関して詳しく。	授業で学んだ内容を実際に機材に触れて復習する。
8		講義・演習	小復習。	復習として今までに学んだ内容に聞き逃しがないかを確認し、質問事項にまとめてみる。
9		講義・演習	プリセット復習。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
10		講義・演習	個別にわからない所を学ぶ。	本日の授業を基に出された課題をレポートとして提出する。
11		講義・演習	課題明かり作り。	ディスカッション
12		講義・演習	課題明かり作り。	ディスカッション
13		講義・演習	テスト、明かり作り。	ディスカッション
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			基本的にレポート等にまとめてアウトプット。可能であればonPCを利用して復習。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	照明デザイン (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	林之弘
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	照明実務経験40年、日本照明家協会1級技能士						
授業の学習 内容	①職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につける ②照明概論 ③現場のルールとともに舞台照明に関する知識と技能を習得する。						
到達目標	学校公演に向け、技術のスキルアップと後輩の指導						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業ガイダンスと就職に向けて	レポート
2		講義・演習	舞台現場で使われる資料	レポート
3		講義・演習	光について	レポート
4		講義・演習	色について	レポート
5		講義・演習	コンソールの基礎	レポート
6		講義・演習	ヴィジュアルライザーソフト①基本が理解できる	レポート
7		講義・演習	ヴィジュアルライザーソフト②作図できる	レポート
8		講義・演習	ヴィジュアルライザーソフト③パッチができる	レポート
9		講義・演習	ネットワークを使用したDMX接続	レポート
10		講義・演習	劇場の歴史	レポート
11		講義・演習	上演芸術の歴史	レポート
12		講義・演習	テレビの歴史	レポート
13		講義・演習	前期まとめ	レポート
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
舞台・テレビジョン照明＜基礎編＞2021				

科目名	照明デザイン(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	林之弘
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	照明実務経験40年、日本照明家協会1級技能士						
授業の学習 内容	①職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につける ②照明概論 ③現場のルールとともに舞台照明に関する知識と技能を習得する。						
到達目標	日本照明家協会技能認定2級試験合格						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	技能認定試験対策授業1	レポート
2		講義・演習	技能認定試験対策授業2	レポート
3		講義・演習	技能認定試験対策授業3	レポート
4		講義・演習	技能認定試験対策授業4	レポート
5		講義・演習	技能認定試験対策授業5	レポート
6		講義・演習	技能認定試験対策授業6	レポート
7		講義・演習	技能認定試験対策授業7	レポート
8		講義・演習	技能認定試験対策授業8	レポート
9		講義・演習	技能認定試験対策授業9	レポート
10		講義・演習	技能認定試験対策授業10	レポート
11		講義・演習	後期まとめ授業	レポート
12		講義・演習	技能認定試験	レポート
13		講義・演習	ミュージカル公演の実務	レポート
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
舞台・テレビジョン照明＜基礎編＞2021				

科目名	映像撮影編集(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小野田奨
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	主にMVやストリートダンス動画などを制作する動画クリエイターとして活躍。制作動画のジャンルは、Youtube動画、イベントや企業様のPR動画を行う。						
授業の学習 内容	映像制作を通して、撮影編集に関する基本的な知識・スキルを学ぶ						
到達目標	映像制作の基本的なテクニックを身に付け、 今後映像制作にかかわる際に役立てることができる						
評価方法と基準	課題 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーション	課題制作
2		講義・演習	PremierePro基礎①	課題制作
3		講義・演習	PremierePro基礎②	課題制作
4		講義・演習	MV制作①	課題制作
5		講義・演習	MV制作②	課題制作
6		講義・演習	カメラの取り扱いについて①	課題制作
7		講義・演習	カメラの取り扱いについて②	課題制作
8		講義・演習	Youtube動画制作①	課題制作
9		講義・演習	Youtube動画制作②	課題制作
10		講義・演習	Youtube動画制作③	課題制作
11		講義・演習	課題制作①	課題制作
12		講義・演習	課題制作②	課題制作
13		講義・演習	課題制作③	課題制作
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業において提示する課題を各授業後に90分以上取り組むこと	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	映像撮影編集(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小野田奨
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	主にMVやストリートダンス動画などを制作する動画クリエイターとして活躍。制作動画のジャンルは、Youtube動画、イベントや企業様のPR動画を行う。						
授業の学習 内容	映像制作を通して、撮影編集に関する基本的な知識・スキルを学ぶ						
到達目標	映像制作の基本的なテクニックを身に付け、 今後映像制作にかかわる際に役立てることができる						
評価方法と基準	課題 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の振り返り	課題制作
2		講義・演習	SNS動画	課題制作
3		講義・演習	SNS動画	課題制作
4		講義・演習	三脚・ジンバルの使い方	課題制作
5		講義・演習	画角について	課題制作
6		講義・演習	撮影実践	課題制作
7		講義・演習	Ae基礎	課題制作
8		講義・演習	AfterEffects + 実写①	課題制作
9		講義・演習	AfterEffects + 実写②	課題制作
10		講義・演習	AfterEffects + 実写③	課題制作
11		講義・演習	課題制作①	課題制作
12		講義・演習	課題制作②	課題制作
13		講義・演習	課題制作③	課題制作
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業において提示する課題を各授業後に90分以上取り組むこと	
【使用教科書・教材・参考書】				